

## 第2回小千谷リビングラボ（仮称）結果報告

### 1. 概要

今年3月に開催した第1回では、73名の参加者でリビングラボのあり方や愛称について考えた。第2回となる今回は、公募により決まった設計者の株式会社平田晃久建築設計事務所（東京都）も加わり、提案内容についてご説明いただきながら、そこから想像する利用のイメージなどについて考える。

### 2. 実施日時

令和3年5月8日（土）13時30分～17時00分

### 3. 実施会場

総合産業会館サンプラザ3階大ホール

### 4. 参加者

77名

### 5. 配付資料

- ・第2回小千谷リビングラボ（仮称）まちと公共施設の未来をともに創造する
- ・事業説明スライド資料
- ・事業指針 ※自由配付

### 6. プログラム

第2回 小千谷リビングラボ（仮称）		
共有 （学び）	1. 事業説明・設計者の紹介	13:30-13:40（10分）
	2. 自己紹介・提案内容についての説明	13:40-14:05（25分）
	3. 愛称案の発表	14:05-14:10（5分）
対話	4. オリエンテーション	14:10-14:25（15分）
	5. 自己紹介・アイスブレイク【グループワーク】	14:25-14:35（10分）
	6. 対話「おぢや体験マップをつくろう！」【グループワーク】	14:35-15:25（50分）
（休憩10分間）		
創造	7. 体験が実現するための問い出し【グループワーク】	15:35-16:05（30分）
	8. 全体共有	16:05-16:25（20分）
	9. まとめ	16:25-17:00（35分）

## － 事業説明・設計者の紹介 －

説明者：建設課都市整備室 土田主査

この事業の目的は、平成 29 年 3 月に閉院した、公益財団法人小千谷総合病院の跡地に、図書館等複合施設を新たに整備し、中心市街地の活性化を図っていくことである。建設地は、かつての病院の敷地と、新たに市が取得した敷地を合わせて約 9,685 m<sup>2</sup>である。新しい施設は、延べ面積 3,700 m<sup>2</sup>程度、その中に図書館、郷土資料館、子育て支援、交流促進・創造という 4 つの機能を想定している。これらの機能を融合しながら効率よく収めることで、多様な人たちをつなぎ「賑わい・交流・憩いの創出」を実現していく。

昨年度、市では設計事業者を公募し、応募のあった 30 者の中から、審査委員会において最優秀提案者＝株式会社平田晃久建築設計事務所（東京都）を選考した。この最優秀提案者について、市は優先交渉権として決定し契約締結を行った。

### 平田 晃久

建築家／京都大学教授。平成 17 年の事務所設立以来、岩手から熊本まで日本各地や海外で様々な公共建築の設計を手がける。新潟県内では処女作であり JIA 新人賞を受賞した「柘屋本店」（上越市）など複数の建築を設計。村野藤吾賞や BCS 賞を受賞した代表作「太田市美術館・図書館」は市民との設計ワークショップを活かした生命感ある空間で知られる。

本業務では、協力事務所として、見附市にて市民と駅前開発事業を行う「国際開発コンサルタンツ」が情報環境（企画）を担当し、世界的コンサルタントの ARUP（オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド）が構造設備を担当する。

今年度は基本設計・実施設計を行い、令和 4 年度～5 年度にかけて建設工事、そして令和 6 年 6 月のオープンを目指す。

単なるハコづくりではなく、新しい公共施設の整備を契機として、中心市街地の価値・魅力を高めることで、このまちに暮らす人々のより良い暮らしにつながってほしい。




説明者：株式会社平田晃久建築設計事務所 平田 晃久

## 基本コンセプト



シンプルな屋根のかかったほぼ平屋の広がりのある建物を提案している。基本的な考え方として、四季折々のダイナミックに変化する「小千谷のコト」を増幅するような建築をご提案した。

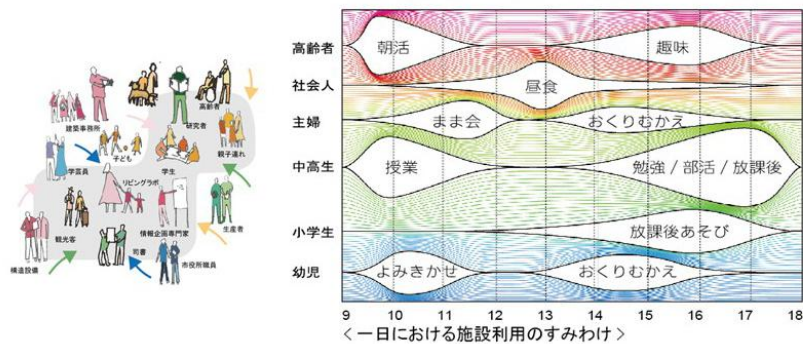
## 小千谷の多様なバイオリズムを織り上げる (実空間 × 情報空間)

<p><small>フロート</small></p> <p><b>1. Float</b> —動く書架や展示棚によって資料の流動性を高める</p> 	×	<p>資料相互の結びつきや、あいだに生まれる小さな空間を時に応じて変化させ、共通の関心事が浮かび上がるきっかけをつくります。</p> <p>情報空間における資料の結びつきは利用者の関心の総体を映し出し、Floatにおいてその実空間に表現されます。</p>
<p><small>アンカー</small></p> <p><b>2. Anchor</b> —時間の中で棲み分けられるコミュニティのための箱</p> 	×	<p>Anchor と呼ぶ、それぞれの特性をもった箱が、場の特性を共有する複数の活動によって棲み分けられます。Anchor は将来的に、Roof の下だけでなくまちへも広がります。</p> <p>情報空間における資料を介したコミュニケーションからコミュニティが形成され、Anchor での活動を生み出していきます。</p>
<p><small>ルーフ</small></p> <p><b>3. Roof</b> —季節ごとの棲み分けを顕在化させる骨太なプラットフォーム</p> 	×	<p>小千谷の重い雪を支えるフラットな屋根は、雪のない季節には群衆や設営車が載せられる多様なイベントのプラットフォームになります。季節ごとの変化がそのまま、まちの風景になります。</p> <p>図書館資料の結びつきが表現する関心事、Anchor での活動、まちの出来事も資料として収集し、「小千谷のコト」を記録・発信するプラットフォームになります。</p>

Float/Anchor/Roofを組合せた動的な建築/まちの関心事が編みあがる

今回のプロポーザルでは、実空間と情報空間の融合と、この建物が単体で終わるのではなくエリア全体を盛り上げていくことをテーマとしていただいている。それに応える考え方として、「フロート」「アンカー」「ルーフ」という3つの建築的な道具立てを考えている。「フロート」は動く家具、「アンカー」はレクチャーや展覧会などができる箱状の場所、「ルーフ」は小千谷の重い雪を支える屋根であり、雪のない季節は広場として開放する役割を持つ。

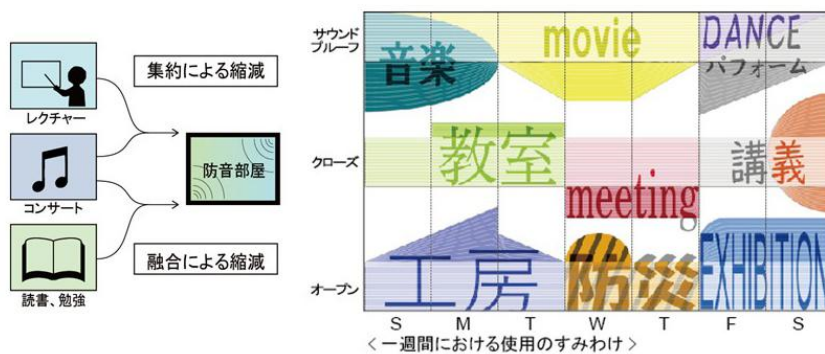
### 多様な人々が集まり新しい出会いが生まれる場



可動のFloat/老若男女が時に応じ活動や関心が可視化されたリアルな場と情報空間/偶発的な出会い

小千谷には多様なバイオリズムがあり、図書館の一日の移り変わりを見ても色々な世代、色々な使い方が時間帯で変化する。それを棲み分けていく。

### 多様な活動を共存させる空間



Anchor/防音された箱固有の特性/複数のコミュニティで棲み分け/機能を集約

アンカーの使い方も、例えば音楽スタジオと呼んでしまうとそれだけにしか使えないが、防音機能のあるアンカーであれば、レクチャーにもコンサートにも学習室にも使える。時間ごとに変化する使



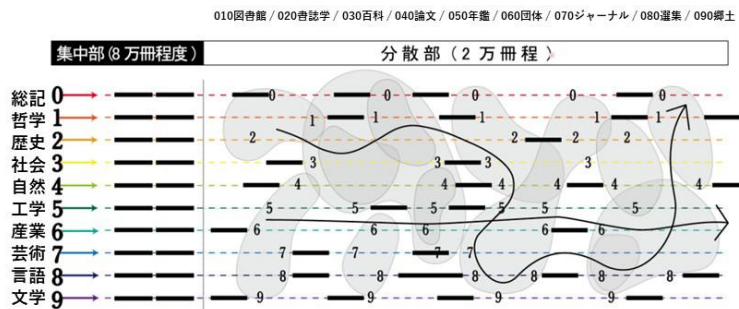


空間では、限られた隣接している関係性しか作れない。でもそれを変化させると、それぞれの情報空間に紐づけられた色々な関係をとまどきに再現していける。そうした動的に変化する場所としての図書館を提案している。そのことで小千谷のバイオリズムと呼応しながら変化していくような場所をつくりたい。

## 十進分類法的秩序とランダムな散策性を併せ持つ書架配列

1. 情報空間上の多様な関心のリンクを、可変的な資料配置として実空間化し、人々をつなぎます

### 1-2. 十進分類法的秩序とランダムな散策性を併せ持つ書架配列



開架書架/集中部/分散部/日本十進分類法に沿って分類  
/自由な配置によって分野を横断した「小さな資料のまとまり」/楽しく散策できる資料の草原のような場所

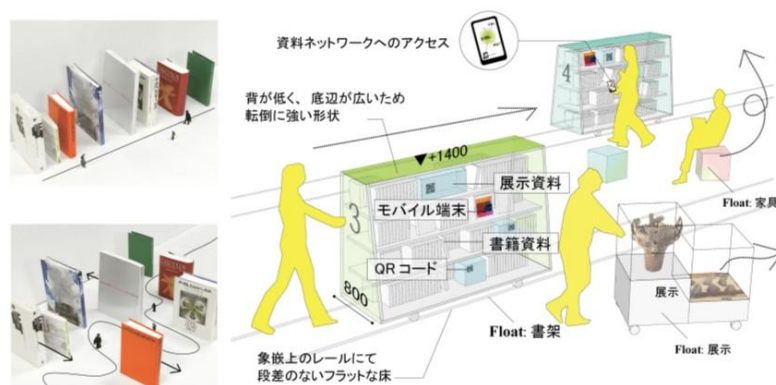
本棚が動くと本が探せないと心配する方もいるかもしれないが、ある分類と対応するようにしてルール上に整然と並んでいるため、その秩序はきちんと保たれるという仕組みを提案している。



## Float ー可動する家具によって資料配置が簡便に変化させることができ、多様な関心を誘発する

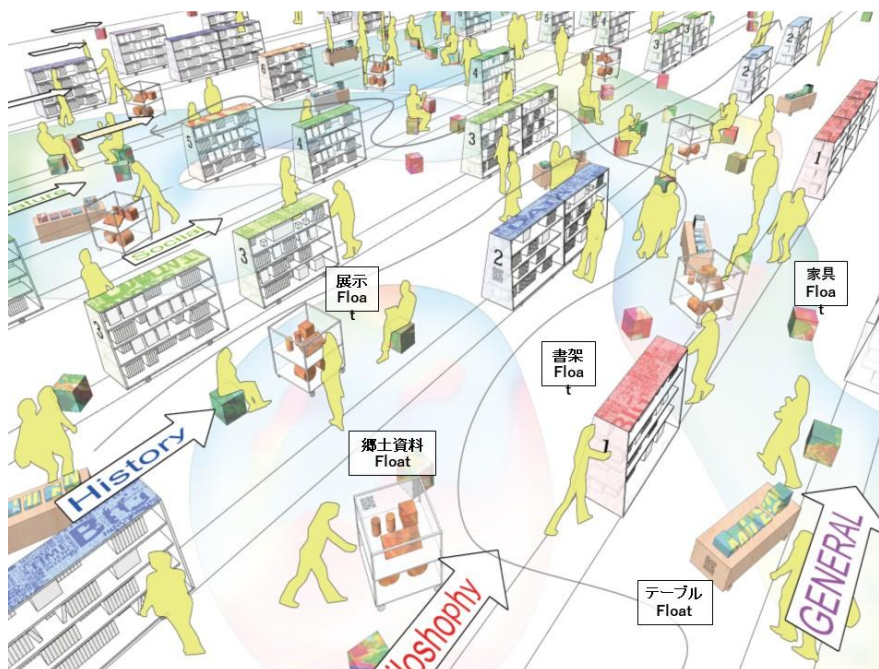
1.情報空間上の多様な関心のリンクを、可変的な資料配置として実空間化し、人々をつなぎます

1-1. **Float** ー可動する家具によって資料配置が簡便に変化させることができ、多様な関心を誘発します



様々な資料を載せた可動の家具/Floatを適宜組み替える/「小さな資料のまとまり」/大きな運営上の負担なく/簡便な組合せ術/資料ネットワーク/アクセスポイント/実空間と情報空間/情報探索やコミュニケーションを誘発/郷土資料

具体的には手で押せるような家具を使う。書籍や郷土資料、歴史的文物のレプリカなど、様々な資料や展示物を載せることができるようなフロートも組み合わせて世界をつくっていく。



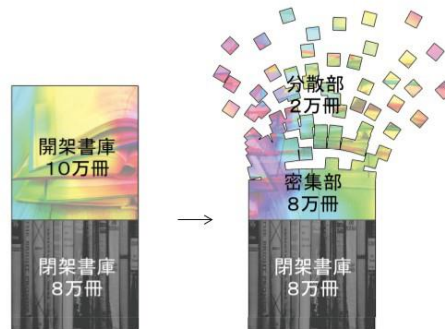
そうするとこのようなフィールドが現れて、それぞれの場所に色々な資料のまとまりができていく。その間を散策するように、本や博物的な資料を見ながら時間をつぶすことができる。



## 資料・関心・コミュニティの循環

1.情報空間上の多様な関心のリンクを、可変的な資料配置として実空間化し、人々をつなぎます

### 1-3. 資料・関心・コミュニティの循環

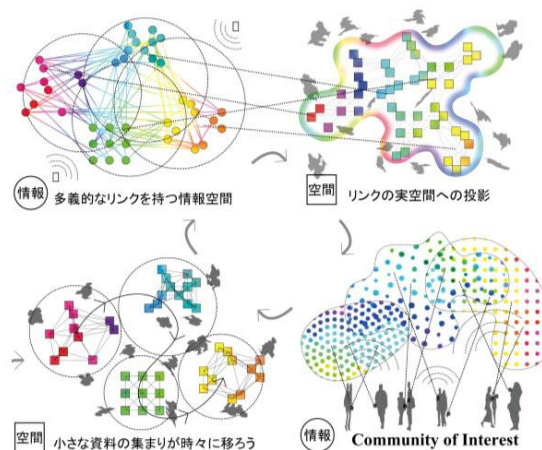


「小さな資料のまとまり」が関心を誘発する/人の集まりを形成する/資料のリンクが人の関心を結び合わせる  
/資料を介してバーチャルに関心が共有される/関心を共有する多層的なコミュニティの形成

普通の図書館では、開架書架と閉架書架の2つがある。このプロポーザルにおいては、開架が10万冊、閉架が8万冊というお題を与えられていた。この開架部分をさらに密集した開架と分散した開架でそれぞれ8万冊と2万冊でブレイクダウンして、分散部分に小さな資料のまとまりをつくれるようにした。

1.情報空間上の多様な関心のリンクを、可変的な資料配置として実空間化し、人々をつなぎます

### 1-3. 資料・関心・コミュニティの循環



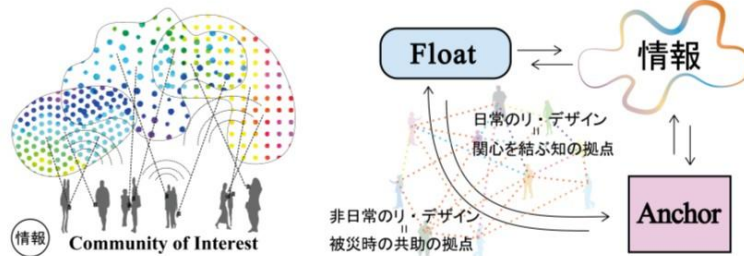
「小さな資料のまとまり」が関心を誘発する/人の集まりを形成する/資料のリンクが人の関心を結び合わせる  
/資料を介してバーチャルに関心が共有される/関心を共有する多層的なコミュニティの形成

それぞれの場所に、情報空間の中にある資料のまとまりと対応したような多様な島が生まれてくる。その島とそこに集まってくる人が残したコメントなどを通して、人のまとまりが生まれてくる。それがグルグルとサイクルになるという考え方である。

1. 情報空間上の多様な関心のリンクを、可変的な資料配置として実空間化し、人々をつなぎます

1-4. 情報空間が人と人の距離感を変える

1-5. 関心から「日常のリ・デザイン」への展開



関心を介したコミュニティアーカイブ/資料を通じた活動のエンパワメント/「日常のリ・デザイン」  
/災害発生時/自発的な共助のネットワーク形成/「非日常のリ・デザイン」

潜在的にある書架に集まってきた人々の結び付きが、情報空間のなかに雲のように現れ始める。それがあるとき図書館側で例えばコーヒーというテーマにたくさん人が集まっていることがわかったらコーヒーの試飲会をアンカーで行う。潜在的にインターネット上にあったものが実空間で起こる。それが新しいコミュニティにつながっていくことがあるのではないかと考えている。

## 小千谷の人々の生活と結びついた多様なシーンをつくりだす災害に強い建築を提案

2. 小千谷の人々の生活と結びついた多様なシーンをつくりだす災害に強い建築を提案します

**ルーフ**  
積雪に耐える広いフラットな Roof

**アンカー**  
周辺建物と同サイズの Anchor

**フロート**  
ヒューマンスケールで可動な Float

図書館機能	1,670 m <sup>2</sup>
(仮称) 郷土資料館機能	150 m <sup>2</sup>
子育て支援機能	600 m <sup>2</sup>
交流促進・創造機能	1,050 m <sup>2</sup>
機械室・その他	310 m <sup>2</sup>
合計	3,780 m <sup>2</sup>

※共用部を併せて各面積に計上

大らかでフラットなRoof/様々なスケールの賑わい/雁木のラインとも呼応/連続するまちの賑わい/可動書架のFloat

建築は具体的にどんな姿をしているか。それはこのリビングラボの場を含めて色々な議論をしながら柔軟に作っていきたいと思っている。仮にどんなものか描いているのが、プロポーザルでの提案で



ある。

ピンク色の箱状のものがアンカーである。周りの商店街の建物と同じスケールである。アンカーの中では色々な活動が行われる。オレンジ色の部分が、フロート（可動式の家具）である。基本的には様々なアンカーが散らばっていて、その間をフロートが動いているイメージである。人がその間を動きながら色々な場所を楽しめるようになっていく。それを柔らかく覆っているのが「ルーフ」と呼ばれるフラットな屋根である。雪をしっかりと受け止めて冬の間は安全確実に耐雪することができる。

全体のゾーンとしては子育て支援の機能を商店街に面した場所に持っている。奥の部分に図書館機能をまとめている。その間に管理系統の機能があり、その脇に屋根付き屋外広場、その右脇に屋根のない屋外広場を持ってきて、それに面して例えば工房やカフェなどのアンカーがあったりというような構成を考えている。向かい側に旧わんパークの建物があるが、これも一つのアンカーとして使っていきたい。



アイレベルで見た時の商店街からの見え方である。

## 生活/交通/にぎわいのハブとなる場を目指す

2. 小千谷の人々の生活と結びついた多様なシーンをつくりだす災害に強い建築を提案します

### 2.1. 生活/交通/にぎわいのハブとなる場を目指します

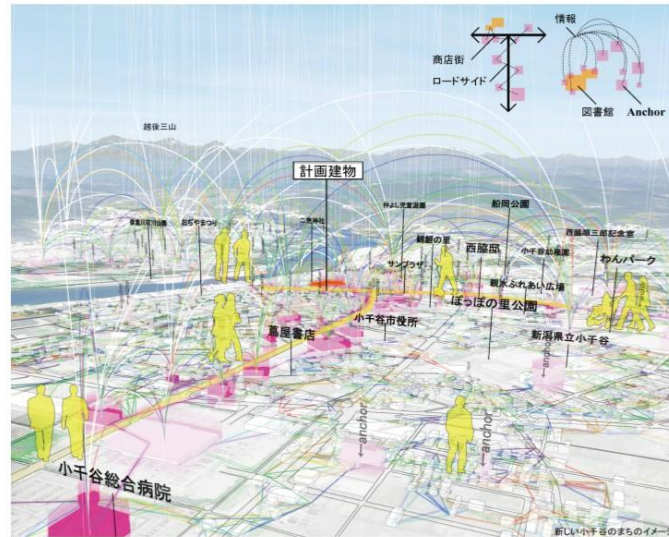


Anchorが広場を囲う/賑わいが出/多様な交通アクセスに対し安全性を確保/堆雪スペース/除雪作業がしやすい配置計画

アンカーの間をマイルストーンのようにつなぎながら歩いていけるイメージである。

## 市民協働によってアンカーをまちなかに展開することで 小千谷市のまち・人・知のハブとなる施設を提案

3.市民協働によってアンカーをまちなかに展開することで小千谷市のまち・人・知のハブとなる施設を提案します。



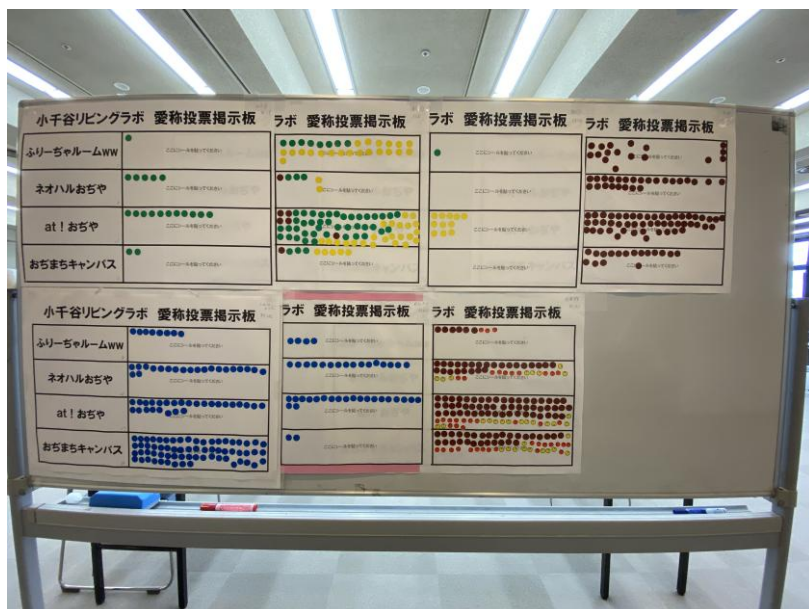
西小千谷地区から施設へ、施設から西小千谷地区への人の流れ/まち全体へとAnchorを展開/施設がハブ/市民による施設運営とまちづくり活動/市民協働による設計プロセスを通してその素地/多様な世代や価値観/自己実現

このアンカーはこの建物の中で完結するのではなく、将来的にはサンプル通りのあたりを中心として広がっていくイメージである。既存の建物をリノベーションすることで様々な別の機能を持ったアンカーがまちじゅうに広がることを提案している。商店街とサンプル通りの2つがTの字のように組み合わさった一つの中心性を持った拡がりをつくっていく。そこを徒歩の圏内で結んでいくことができるようになればいいのではないかな。それを情報空間でサポートしていく。



－ リビングラボ愛称案の発表 －

第1回小千谷リビングラボ（仮称）の参加者で考えた4つの候補で市民投票（4月9日～5月6日）を行った結果、最多得票数の「at!おぢや」（読み方：あっとおぢや）に決定した。「at」（アット）には、一点に集まるという意味があり、みんなが一つの場所に集まって話し合いができる場を意味する。第1回に参加した地元高校生のアイデアが選ばれた。



－ オリエンテーション －

説明者：アカデミック・リソース・ガイド(株)（＝官民連携支援業務受託者） 有尾

この事業で大事にしていきたいことは、小千谷市民の暮らしをリ・デザインすることである。病院跡地を新たな活用して新しい魅力とまちの活力を生み出して、市民の暮らしをより良くしていくことをみなさんと一緒に目指していくことを大切にしている。

その中の一つの要素として大事にしているのが「共創」である。行政が何かをつくって提供するという形ではなく、さまざまな立場の人がいっしょに考えて思いを共有しながら、「私たちの」新しい施設づくり、まちづくりをしていくことである。

小千谷リビングラボのイメージ図である。真ん中に市民と、小千谷に関心のある方がいて、そこに設計者、小千谷市、公民連携アドバイザーがいっしょになって、小千谷リビングラボとして活動していく。最初はこの事業のことを考えていくが、それだけに拘らず、この先考えていく幅を広げていって、例えば子育てのこと、学びについて、活躍の場づくりなどまち全体のことについて考えて、みんなの力でつくっていく形を目指したい。

この事業で大切にしていくこと

**小千谷の暮らしをリ・デザインする**

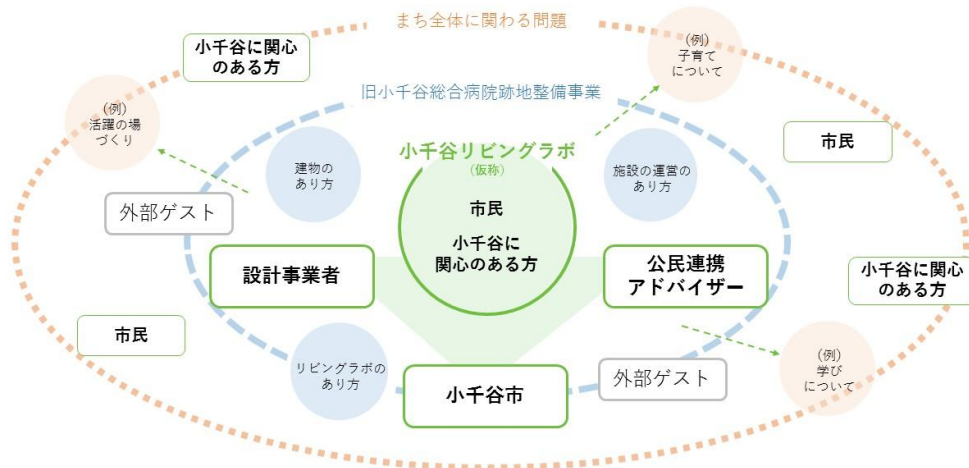
旧小千谷総合病院の跡地の新たな活用で  
新しい魅力とまちの活力を生み出し、  
市民の暮らしをより良くしていくことを目指していきます。



## ● 共創 ●

小千谷市や事業にかかわるさまざまな立場のひとが互いに情報を交流し、思い（想い）を共有しながら市民とともにかたちづくる「わたしたちの」新しい施設づくり、まちづくりを目指します。

小千谷リビングラボ（仮称）のイメージ





－ 自己紹介・アイスブレイク －

自己紹介・アイスブレイク (10分)

自己紹介

名札に書いた「呼ばれたい名前」を  
グループ内で共有



アイスブレイク

**[妄想自己紹介]**

「もし●●だったら、～～したい」と妄想を取り入れて自己紹介をする。

(例)

- 「もし宝くじで100億円が当たったら、〇〇が欲しい」
  - 「もし魔法が使えたら、△△したい」 など
- ※実在しない架空のキャラクターや事件などを取り入れてもOK



－ おぢや体験マップをつくろう！ －

対話「おぢや体験マップをつくろう！」

## みんなで新しくできる図書館等複合施設での 体験を考えましょう！

### ※つながる体験で考えてみる※

- みなさんの体験は、施設の体験だけがそれだけであるわけではなく、様々な場所での体験とつながっています。
- 新しくできる図書館等複合施設で、起こること、あるいはできたらいいなといった体験を想像するためには、こうしたつながる体験を考えることが大事です。

家、職場、学校、まちなか、インターネットなど

対話「おぢや体験マップをつくろう！」進め方（45分）

テーマ決め（5分）

以下のテーマから、グループ内で一つ多数決で選ぶ

子育て

勉強・研究

交流

仕事

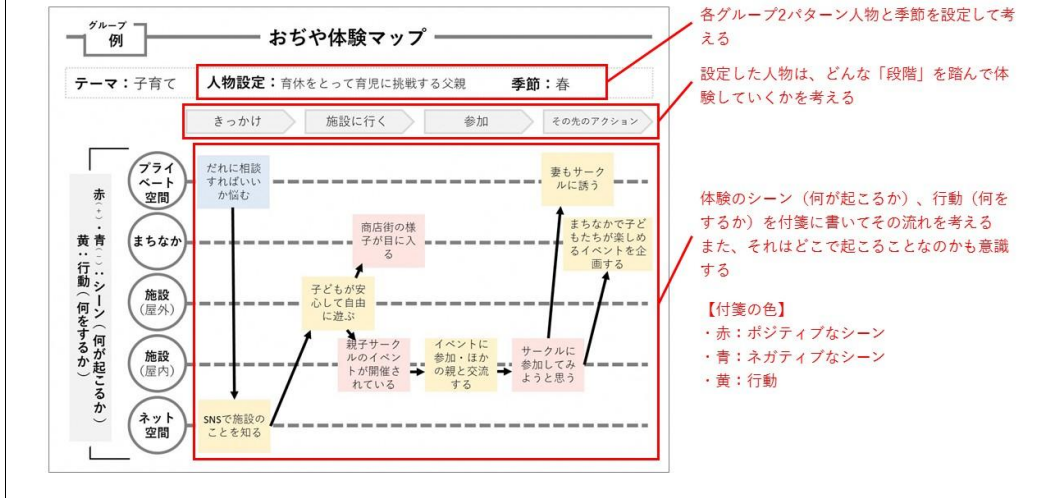


対話（40分）

テーマをもとに2パターン人物設定を考える。  
各人物の施設利用を通じた体験マップを考える。

※設計の提案内容を聞いて、この施設の利用を通してどんなシーン・行動が生まれそうだと思うか？  
※対話のルールを意識する。

「おぢや体験マップをつくらう！」のイメージ



対話のルール

9つのルール

- 何を話してもいい。意見が変わってしまってもいい。
- 人の言うことに対して否定的な態度をとらない。
- ひととの対話の時間を大切する。発言は1回につき1分におさめる。
- 発言しないで黙って聞いて考えているだけでもいい。
- お互いに問いを投げかけることが大切。
- 知識ではなく、自分の経験にそくして話す。
- 話がまとまらなかったり、わからなくなってもいい。
- みんなで黙ってもいい。
- まとめなくてもいい。



－ 体験が実現するための問い出し －

体験が実現するための問い出し (30分)

問い出し

作成した体験マップを振り返り、こうした体験が生まれていくための課題（障壁になること、難しいことなど）は何なのかを考える。

例) ○○○○だから△△△△できない

※目標各グループ5つ以上



この課題が次への「問い」になります！





グループ

A

# おぢや体験マップ

(積雪2m)

テーマ: **交流**

人物設定: **よき者**

よき者

20代女子の1人暮らし

季節: **真冬**

真冬

きっかけ

経験

情報

プライベート空間

まちなか

施設 (屋外)

施設 (屋内)

ネット空間

赤 (+) ・ 青 (-) .. シーン (何が起ころるか)  
黄 .. 行動 (何をするか)

親切な人  
募集中

付き合い  
男学生と遊び  
た。

ネット予約し  
本をかり  
いく

雪がまだ  
ひまわりしに  
...

家にいても  
人母のこ  
こに行きたか  
た。

雪国につか  
れ7.とゆう  
くして。

雪道で運転が  
怖いので  
新しい車に  
買い換え  
たい。

買物の  
帰りには  
寄り道したい

郷土食  
を食べさせて  
もらう。

wi-fi  
飛んでいる

終つて  
雪の美しさ  
おもしろ  
体験の場

雪の変化を知  
る  
梅雪。は  
雪見酒。  
山手町の雪

SNSでの  
交流

インスタ  
見た

お金  
必要

交流が  
話の  
必要

必要経費  
は私  
もらう

町セミ  
イベント  
作る。

or  
or

景色の  
新へ行く

持続性  
は  
必要

雪を  
楽しむ  
方法

男性  
の喜  
びは  
コ  
ンビ  
程度。

5歳  
の女  
子

女性  
の喜  
びは  
コ  
ンビ  
程度。

タイ  
アに  
男性

(休  
校)

近  
店  
を  
た  
た  
か  
ぐ  
代  
女  
性  
秋



# おぢや体験マップ

**ポイント：交流カフェによるコミュニティの形成**

テーマ：交流

人物設定：よそ者 20代女子 わけあって一人暮らし

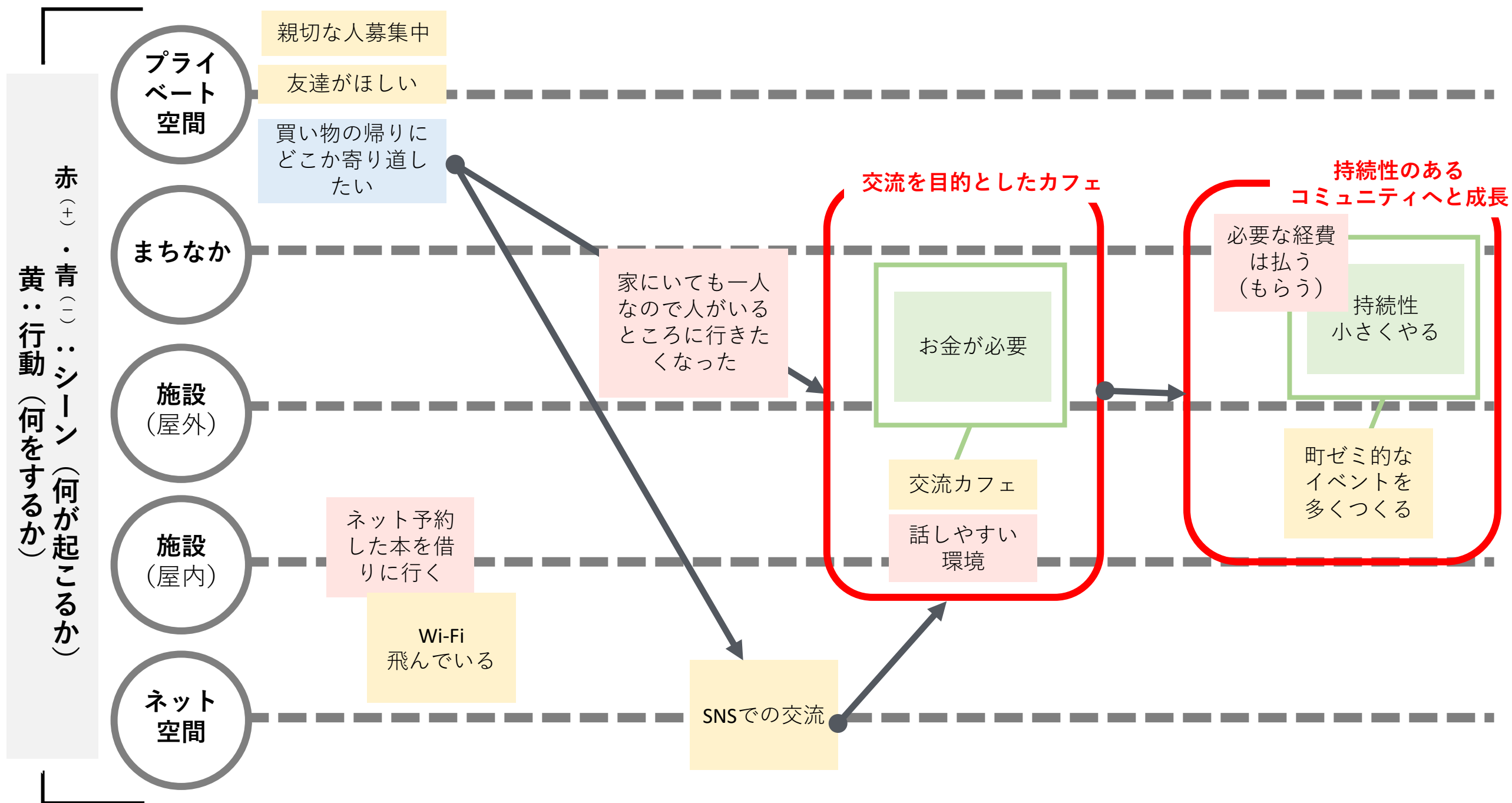
季節：真冬（積雪2m）

きっかけ

SNSでの出会い

施設に行く

その先のアクション



# おぢや体験マップ

**ポイント：雪の美しさ、恐ろしさを体験**

テーマ：交流

人物設定：よそ者 20代女子 わけあって一人暮らし

季節：真冬（積雪2m）

きっかけ

小千谷を知る

その先のアクション

プライベート空間

雪かきが嫌になりひまつぶしに....

まちなか

雪国につかれて、途方に暮れて

施設  
(屋外)

施設  
(屋内)

ネット空間

雪道で運転できないし歩いて行けるところに何も無い、どこへ行けば楽しいのかわからない

愛をこめて雪の美しさとおそろしさを体験の場をつくる

雪の変化を知る  
楽しむ  
粉雪・ぼたん雪・雪見酒  
小千谷だけの雪の情報

景色の良い所へ行く

図書館から  
小千谷市全域へ

インスタで見た

SNSでの交流

SNSをきっかけに  
ネット空間・施設・まちなかで雪を知る

赤(+)・青(-)・黄(○)・シ(○)・行(○)・動(○)  
(何をやるか) (何が起るか)





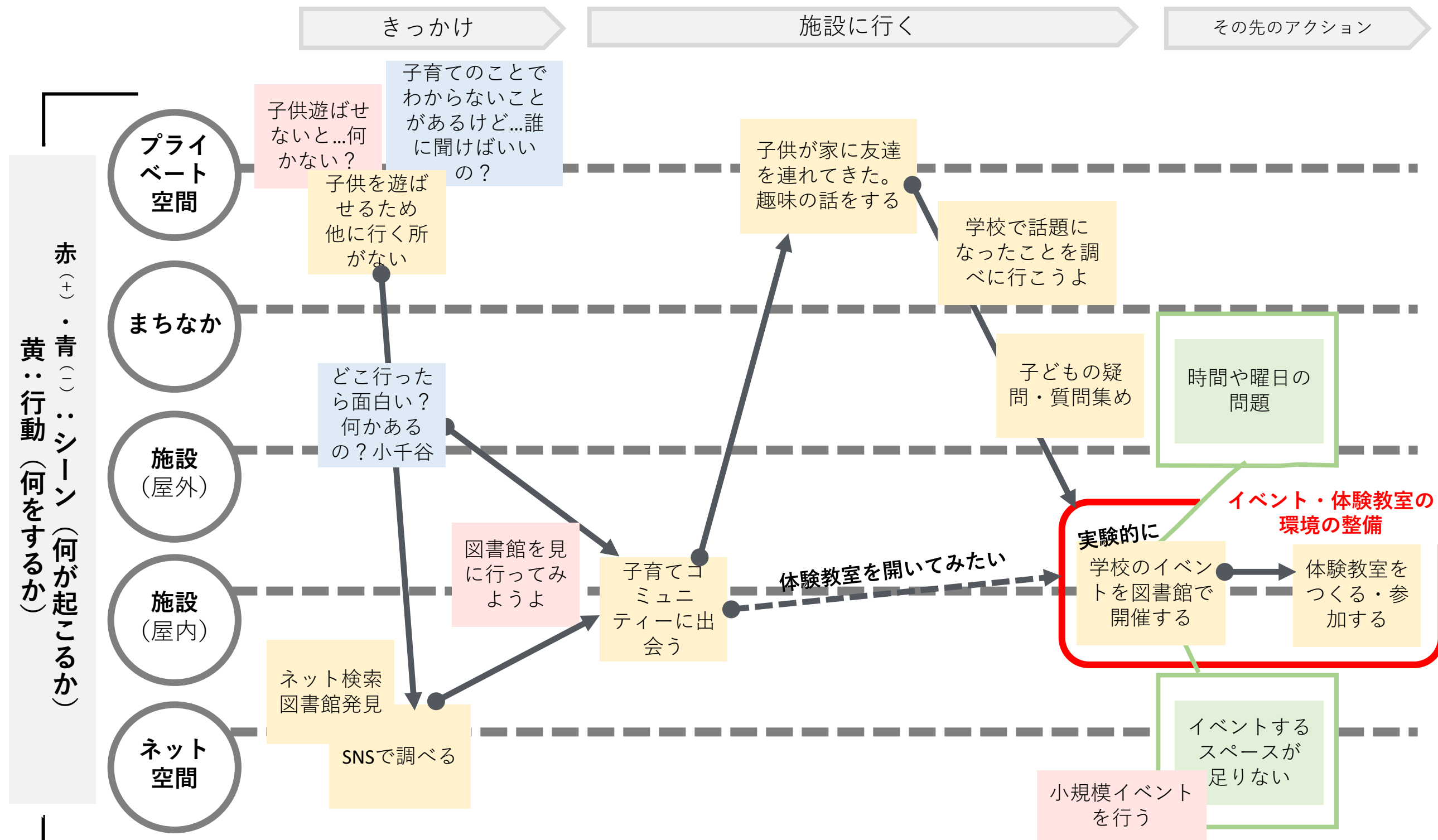
# おぢや体験マップ

**ポイント：子育てから地域コミュニティへの参加**

テーマ：交流

人物設定：小千谷に引っ越して来たお母さん  
小学生の子ども2人

季節：冬



# おぢや体験マップ

**ポイント：コミュニティへの参加を促す施設の在り方**

テーマ：交流

人物設定：小千谷に引っ越して来たお母さん  
小学生の子ども2人

季節：冬

きっかけ

施設に行く

その先のアクション

プライベート空間

暇つぶし  
雪から逃れたい

同年代の友人を見つけに

まちなか

施設  
(屋外)

どこ行ったら面白い？  
何かあるの？小千谷

施設  
(屋内)

雪が降って  
外で遊べないから行って  
みようか

ネット空間

ネット検索  
図書館発見

SNSで調べる

自分に合った  
コミュニティを発見

スポーツコ  
ミュニ  
ティ発見

子育てコ  
ミュニ  
ティに出  
会う

コミュニティを広げる  
ための情報発信を担う

情報ハブの  
機能を持っ  
た施設

コミュニ  
ティ全体  
の情報発信

※各コミュニティがばらばらに情報発信せず、図書館が大きなコミュニティの母体となって情報を発信する

赤(+)・青(-)・黄(○) シーン(何が起こるか)  
黄(○) 行動(何をするか)







多様な居場所が「なんとなく」を受け止め学びにつながる

テーマ：学び

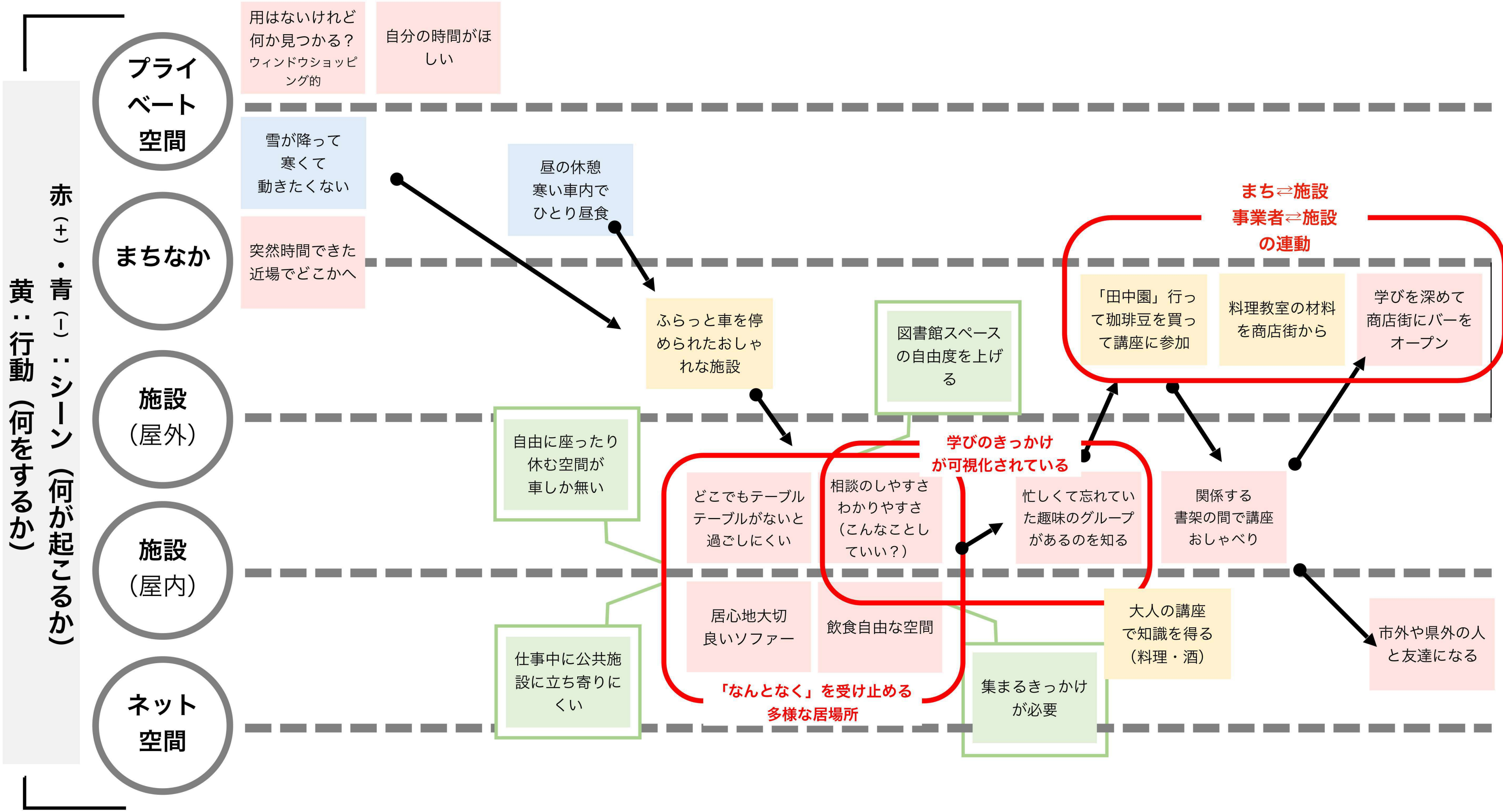
人物設定：30代男性（仕事忙しい・もともと図書館に行かない）

季節：冬

きっかけ

施設に行く

その先のアクション



知りたいをエンパワー（つながりと参画へ）

テーマ：学び

人物設定：30代男性（仕事忙しい・もっとも図書館に行かない）

季節：冬

きっかけ

施設に行く

その先のアクション

プライベート空間

まちなか

施設  
(屋外)

施設  
(屋内)

ネット空間

赤(+)・青(-)・・・シーン(何が起こるか)  
黄・・・行動(何をするか)

仕事のトラブル  
クレーム

家を新築する

転勤してきた  
小千谷のことを  
知りたい

仕事しかない  
新しい趣味を  
探したい

図書館へ調べ物  
しに行く

仕事中に公共施設  
に立ち寄りに  
くい

資料だけでなく  
Info.センター  
(ネットも)

残業続きで  
図書館は閉館

どこでもテーブル  
テーブルがないと  
過ごしにくい

相談のしやすさ  
わかりやすさ  
(こんなことし  
ていい?)

困りごとを共有  
する

居心地大切  
良いソファ

飲食自由な空間

関係する  
書架の間で講座  
おしゃべり

利用者が新たな  
利用方法のアイ  
デアを出す

図書館運用手伝  
いポイントゲッ  
ト

学びのコミュニティ  
づくりが促される環境

運営への  
関与・参画

運営への参画が見える



# おぢや体験マップ

行動が交流を生む (action → communication)

テーマ：学び

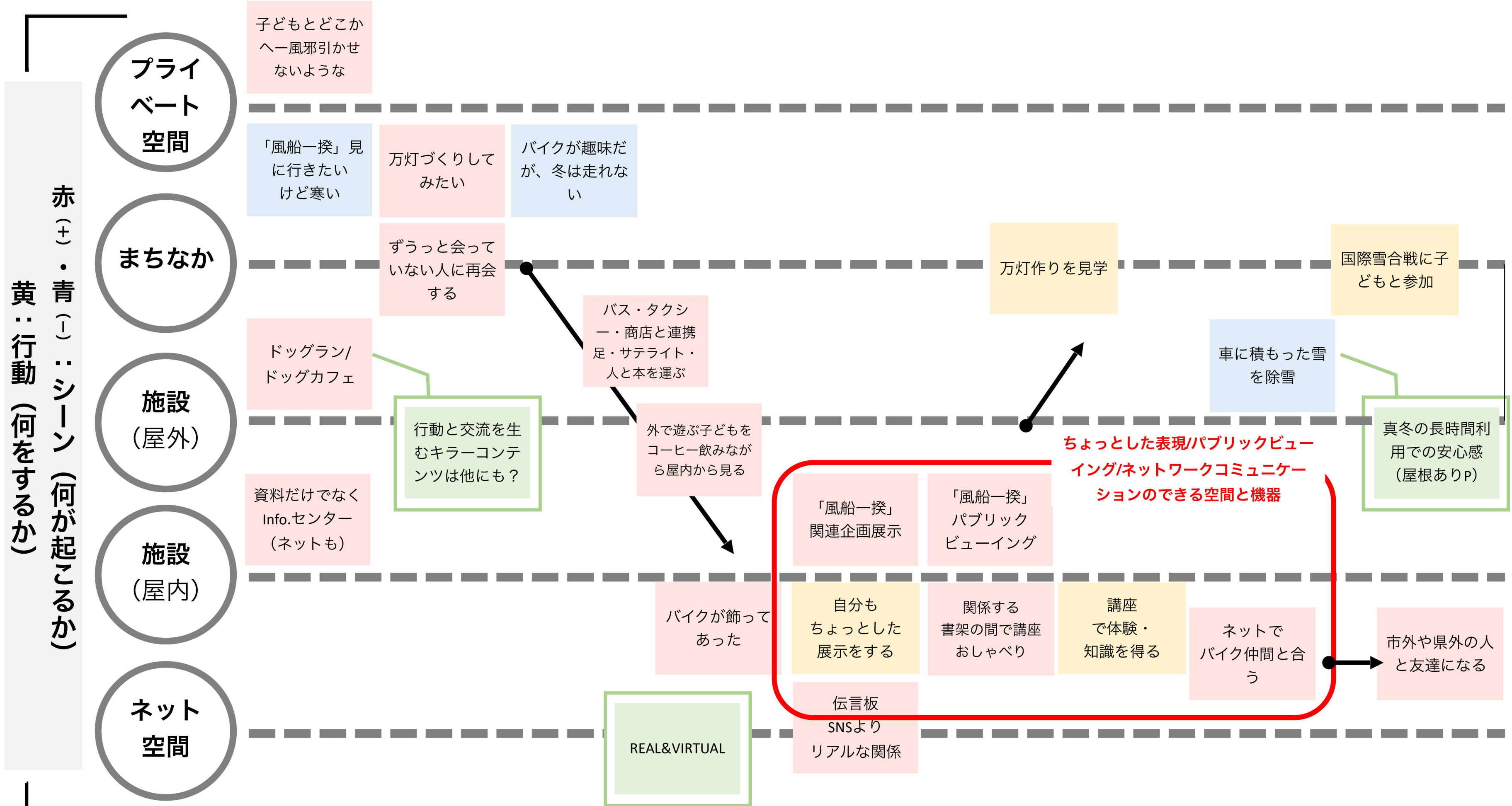
人物設定：30代男性 (仕事忙しい・もともと図書館に行かない)

季節：冬

きっかけ

施設に行く

その先のアクション





テーマ： **学び**

人物設定： **高校生**

季節： **冬**

# \*多様な表現メディアの空間\*

Free Board.

プライベート空間

小千谷のこと。  
7人に0知4知  
7人。

新しい施設!  
1回くらい  
行ってみよう!

悩みを  
おし  
で発散す

発信の自由度  
高まる  
PR割引

その道の  
プロフェッショナル  
紹介コーナー  
(非公開...)

将来、どうい  
所で高校生活  
したいか。  
人に話せる時  
- 誰かを思うこ

赤 (+)

まちなか

27-1012の活用。  
秋田県、学校と  
関係をもつ。  
- 生徒の交流  
の交流。

あか

入りたい  
部活  
が  
なかった

校外で  
活動している  
層をSNS  
で知って連絡する

久しぶりに  
友だちと  
話すと  
一緒に活動に  
参加するようになった

作品の  
展示スペース  
小ステージ  
同世代(他校)  
のスキルに  
刺激を受ける!

地元の人との  
交流の場  
で知識を得る。

集まる場所  
自然に  
学べる

小千谷に住んで  
いないので  
何も知らない

小千谷で  
どんな所?  
来た時  
の感じ  
と今と

まろっ  
はたらく?

施設 (屋外)

交流の場。  
小千谷校舎と  
関係の部活の  
関係の部活  
関係の部活。

\*まろの部活のバス\*

サークルの  
発表

大人と子ども  
自分も  
得意分野で  
講師

種工資料  
調べる。

いかに地域の  
お祭りや伝統  
とか。面白そう!

施設 (屋内)

学んだ事を  
発表する経験  
(部活)

様々な職人の  
体験談

自分たちで  
調べ  
てみる

共通のテーマ  
検索性  
高まる

受験勉強の時  
も、おもしろい  
ところ。  
歴史や地理

ネット空間

Youtubeで  
見た  
動画

けど、家で  
オンライン  
検索

27-1012  
4-7  
5分

教科は  
たのしい  
です!

新しい  
こと  
です!

ネット上  
アカイガ  
掲載  
している

知る → 知る → 発信する  
空間と道具。

web → real → web のサイクル

黄... 行動... シーン... 何が起る...



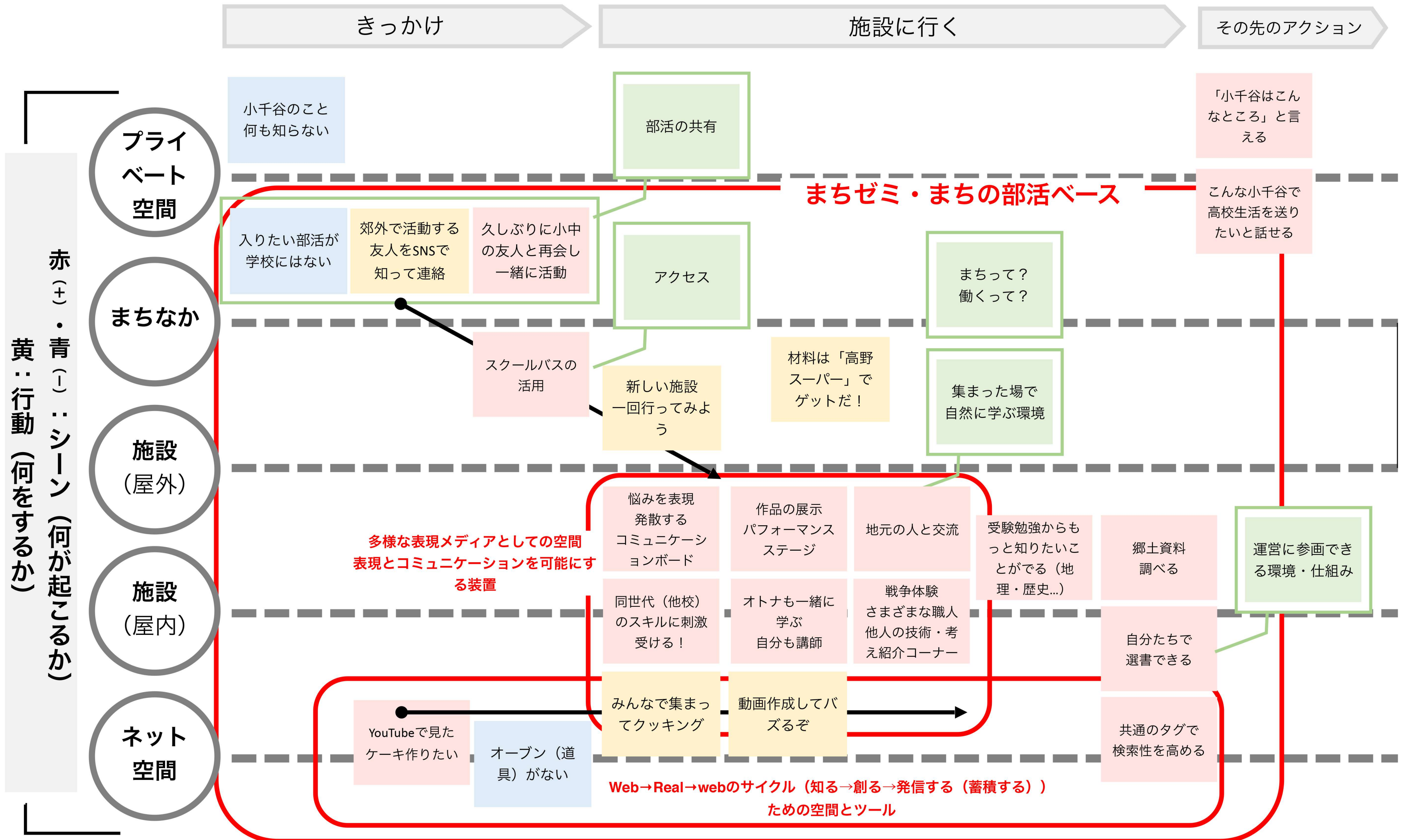
# おぢや体験マップ

## 「まちの部活」

テーマ：学び

人物設定：30代男性（仕事忙しい・もっとも図書館に行かない）

季節：冬





# おぢや体験マップ

山間地に住む家族(小中学生の子供)

テーマ: 交流 人物設定: 60才代のリタイアしたばかりの男性 季節: 春

施設に行く

をかける

交流深化

次期行動/関心



学生 (小・中・高)

40代男性

市内高齢者と小学生の交流

60代男性(女性)

大地の芸術祭と目的は異なり、手段は異なる。男子大学生

黄: 行動(何をやるか)

青: シーン(何が起るか)

何もやることがない

家には遊び場がない。↓何が発見できるか。ぶらぶら

興味のあるイベント開催しづらい

施設の見学と施設の見学

施設に行く

親の役割を体験

子どもが成長していくにつれ交流が深まる。(長期的な交流は難しい)

学校の工作

都市部の活動結果発信

里野菜の苗を買いに行く。おまけに家庭菜園の作り方のプリントをもらう。→ 山間地で活用できる

行政が講座や教室を企画しないと交流が生まれにくい。

山間地の小中学生

高令男性の興味を引く。子育てに助言をしてくれる。

実はその男性はひとりが好きだった。

山間地の小中学生

高齢者の出合いのきっかけ

高齢者の雪どきリーダー

費用の負担

近隣の木材を販売している

おじやさんでキャンプ

山間地の地域: 若者の移動(野暮野暮の民間)も小学生が居る。時間的余裕がある。トヨタの山間地での活動を行う。

→ 旅行がきっかけ

→ 共同でやる

→ 男性が作ったDIYのたばこ地域活性のイベントを開催する。

→ 親の役割を体験

錦鯉に興味のある20代後半の外国人

出会う

ワークショップ

WS的な交流イベント

本棚の近くに情報誌

大画面の紹介とオムニバス映画

チラシの作成

サークルの日々の活動を見せたい

町内を散歩しながら、カフェで地味お茶をする

DIYや木工

DIYや木工

仲間に出会う

赤

60代男性の家族の理解が乏しい

おじやさんでキャンプ

リレー前は時期が近く読者の目には、本を語るにきた。

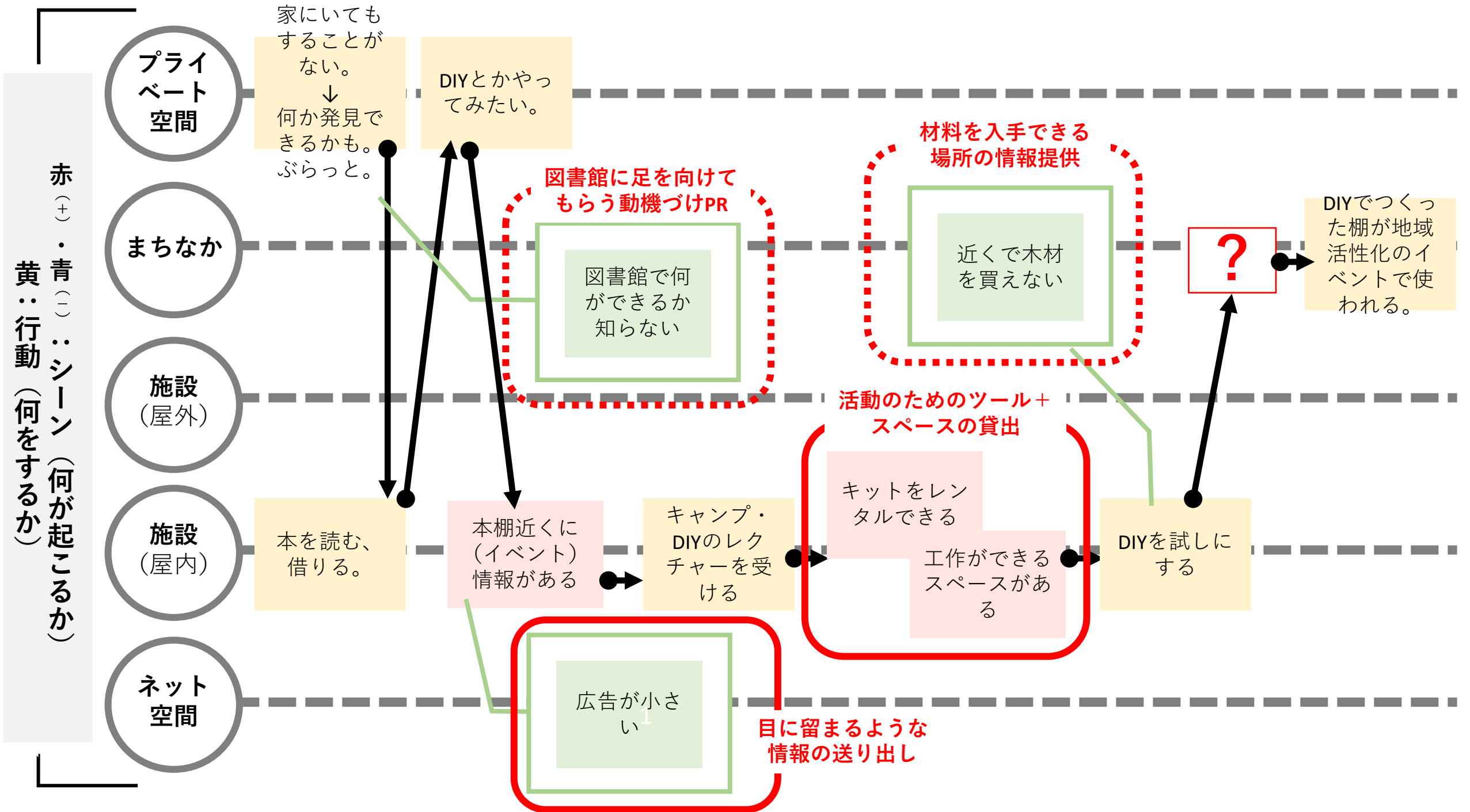
新しい知識と学習

# おぢや体験マップ

**パターン：施設で本をきっかけにやりたいことに出会い、活動し、地域に貢献する**

テーマ：交流      人物設定：60代のリタイアしたばかりの男性      季節：春

きっかけ      施設に行く      その先のアクション





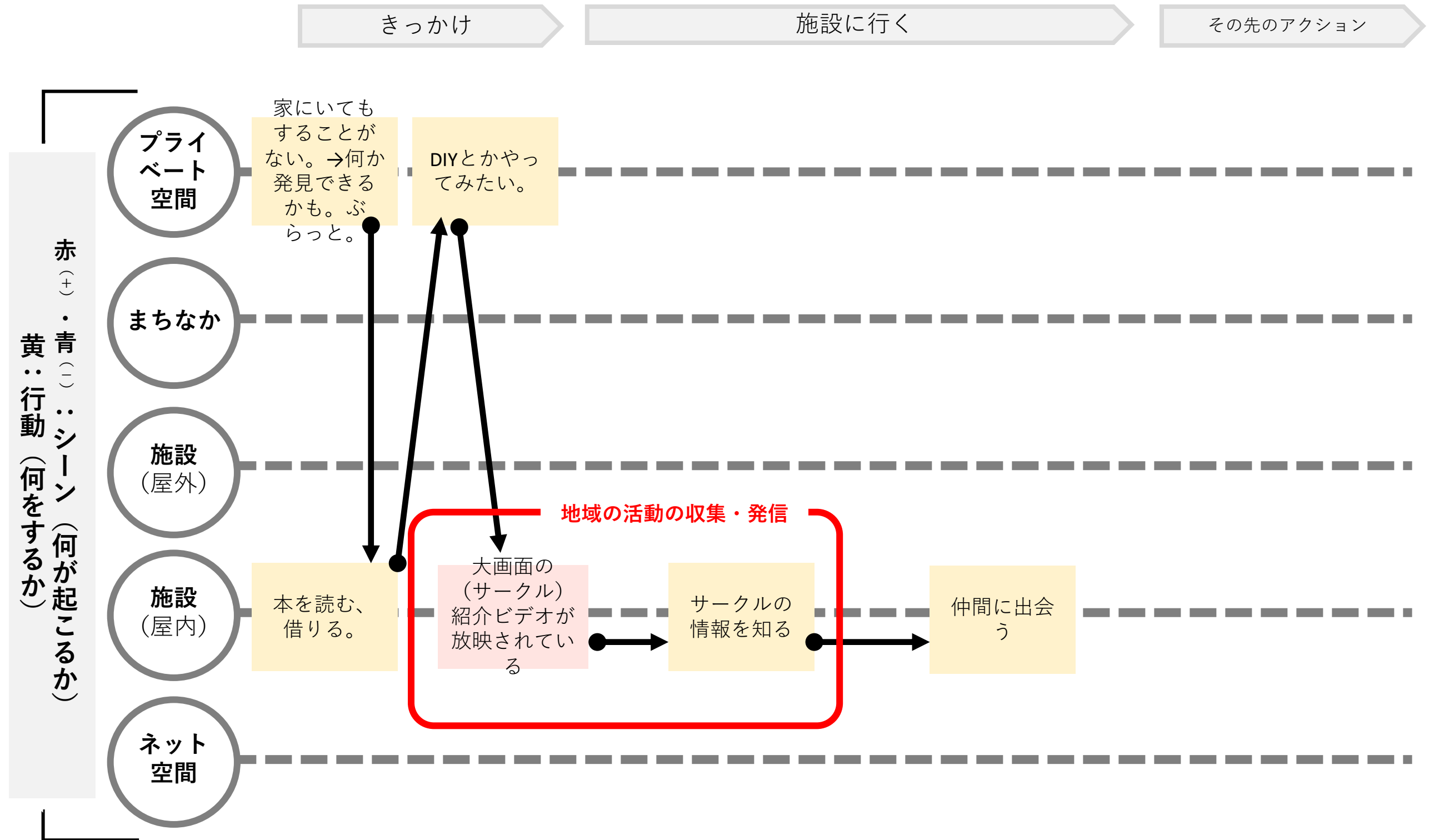
# おぢや体験マップ

**パターン：施設で本をきっかけにやりたいことに出会い、仲間に出会う**

テーマ：交流

人物設定：60代のリタイアしたばかりの男性

季節：春



# おぢや体験マップ

パターン：施設で興味を介して人と出会い、教え合いや交流を深める

テーマ：交流

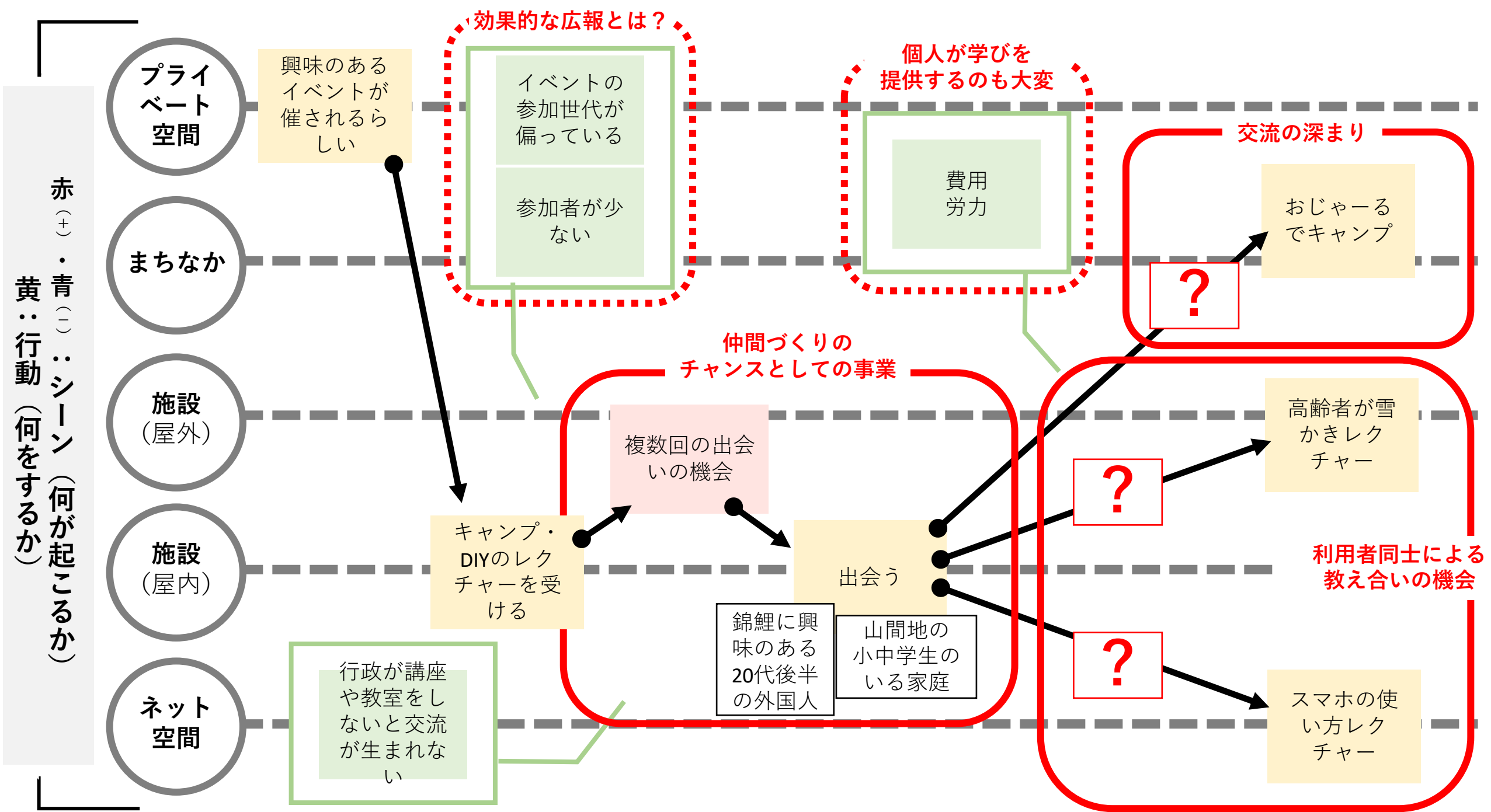
人物設定：60代のリタイアしたばかりの男性

季節：春

きっかけ

施設に行く

その先のアクション



赤(+)・青(-)・黄(○)のシーン(何が起ころるか)  
黄の行動(何をするか)

プライベート空間

まちなか

施設(屋外)

施設(屋内)

ネット空間

興味のあるイベントが催されるらしい

効果的な広報とは?  
イベントの参加世代が偏っている  
参加者が少ない

個人が学びを提供するのも大変  
費用 労力

交流の深まり  
おじゃーるでキャンプ

仲間づくりのチャンスとしての事業  
複数回の出会いの機会  
キャンプ・DIYのレクチャーを受ける  
出会う

高齢者が雪かきレクチャー

行政が講座や教室をしないと交流が生まれにくい

錦鯉に興味のある20代後半の外国人  
山間地の小中学生のいる家庭

利用者同士による教え合いの機会  
スマホの使い方レクチャー

# おぢや体験マップ

パターン：親子で施設を訪れ、講座を介して人と出会い、教え合いや交流を深める

テーマ：交流

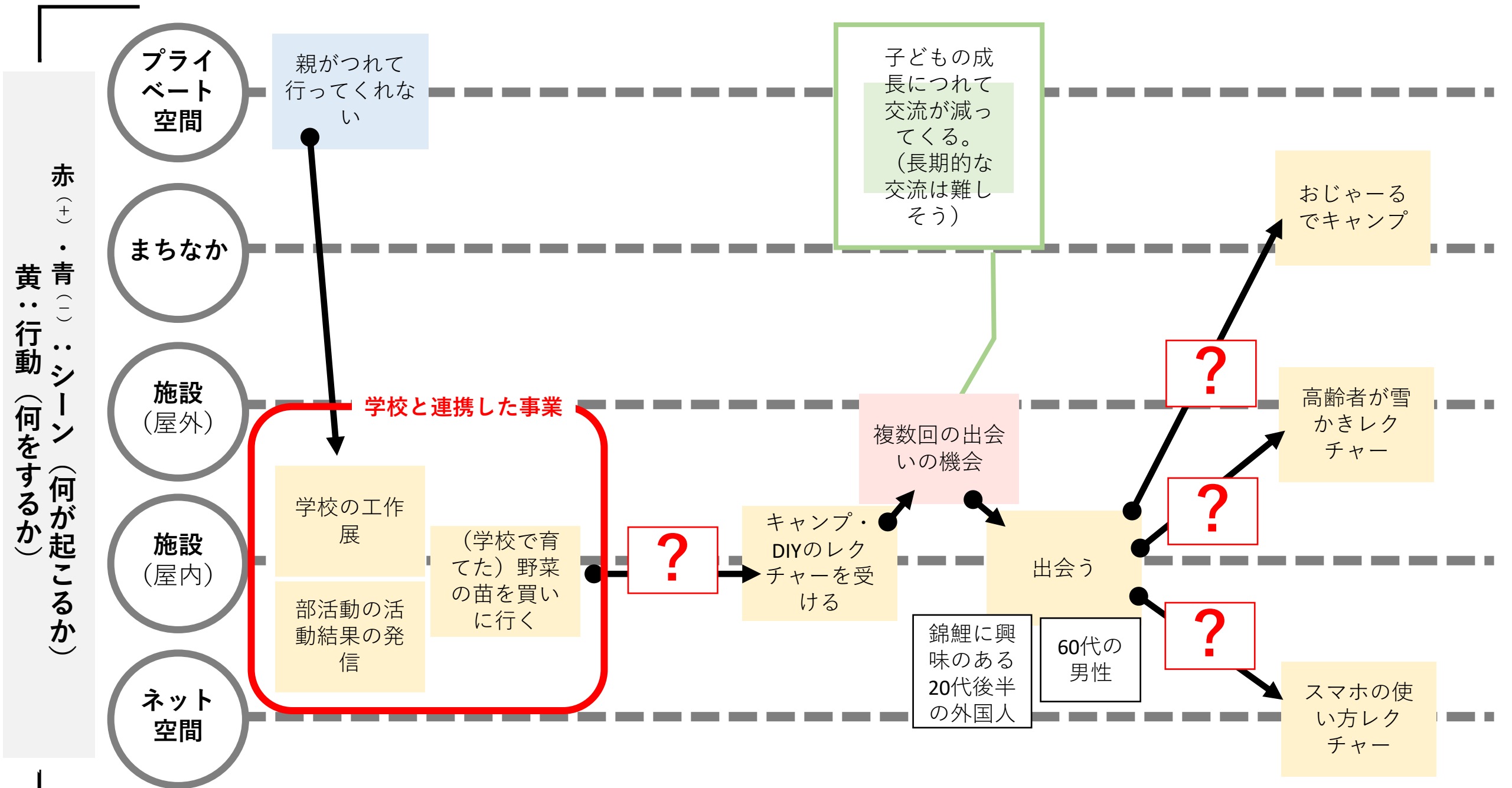
人物設定：山間地に住む家族（小中学生の子ども）

季節：春

きっかけ

施設に行く

その先のアクション



# おぢや体験マップ

パターン：親子で施設を訪れ、やりたいことに出会う

テーマ：交流

人物設定：山間地に住む家族（小中学生の子ども）

季節：春

きっかけ

施設に行く

その先のアクション

プライベート空間

親がつれて行ってくれない

まちなか

施設  
(屋外)

施設  
(屋内)

ネット空間

学校の作品展

部活動の活動結果の発信

事業と連携した情報の送り出し

(学校で育てた) 野菜の苗を買いに行く

家庭菜園の進め方パンフをもらう

調べてみたくなるかも

赤(+)・青(-)・シーン(何が起ころるか)  
黄..行動(何をするか)



# おぢや体験マップ

テーマ：交流

人物設定：歴女が作り出す  
にぎやかな70代男性

季節：冬

きっかけ

施設に行く

赤 (+) ・ 青 (-) .. シーン (何が起こるか)  
黄 .. 行動 (何をするか)

プライベート空間

まちなか

施設 (屋外)

施設 (屋内)

ネット空間

大河ドラマの主人公に  
かぶる

You tube  
学んで大説話  
教えてくんな  
ねか!!

今までどおし  
勉強して  
国語科

使用感がいい  
知らない人は  
来る。

同じような  
語りがない  
見つけたい  
見つけたい

同じような  
語りがない  
見つけたい  
見つけたい

歴史の一人旅  
(大河ドラマ)

雨の降る  
場所  
洪水に  
注意!!

避難場所  
が近くに  
ない!!  
洪水時に!!

フロアと  
おん  
場所

うさぎ  
外に出る  
路地裏  
黄色い  
花  
花の  
文字  
文字

場や  
設定  
作り  
エッセイ  
など

アルコールの  
提供

飲み会  
の  
企画

図書館に  
行く  
場所  
取り  
(取  
り  
消  
し  
の  
機  
会  
を  
と  
る)

歴史の  
一人旅  
の  
魅力

でも  
おん  
場所

語り  
たい!!

防音の  
小室  
学習室

生活の  
逃げ場  
作り

歴史の  
一人旅  
の  
魅力

ネット  
を使い  
ない

新しい施設  
に  
来て  
みる

小学校  
の  
歴史  
を  
知る  
(内  
容  
が  
いい)

意外に  
同じ  
人  
が  
いる

歴史の  
一人旅  
の  
魅力

(おん)  
おん  
場所

おん  
場所  
を  
知る  
(内  
容  
が  
いい)

意外に  
同じ  
人  
が  
いる

歴史の  
一人旅  
の  
魅力

歴史の  
一人旅  
の  
魅力

You Tube  
UP

LIVE  
配信  
など

おん  
場所  
を  
知る  
(内  
容  
が  
いい)

# おぢや体験マップ

**パターン：自由な一人時間を過ごす**

テーマ：交流

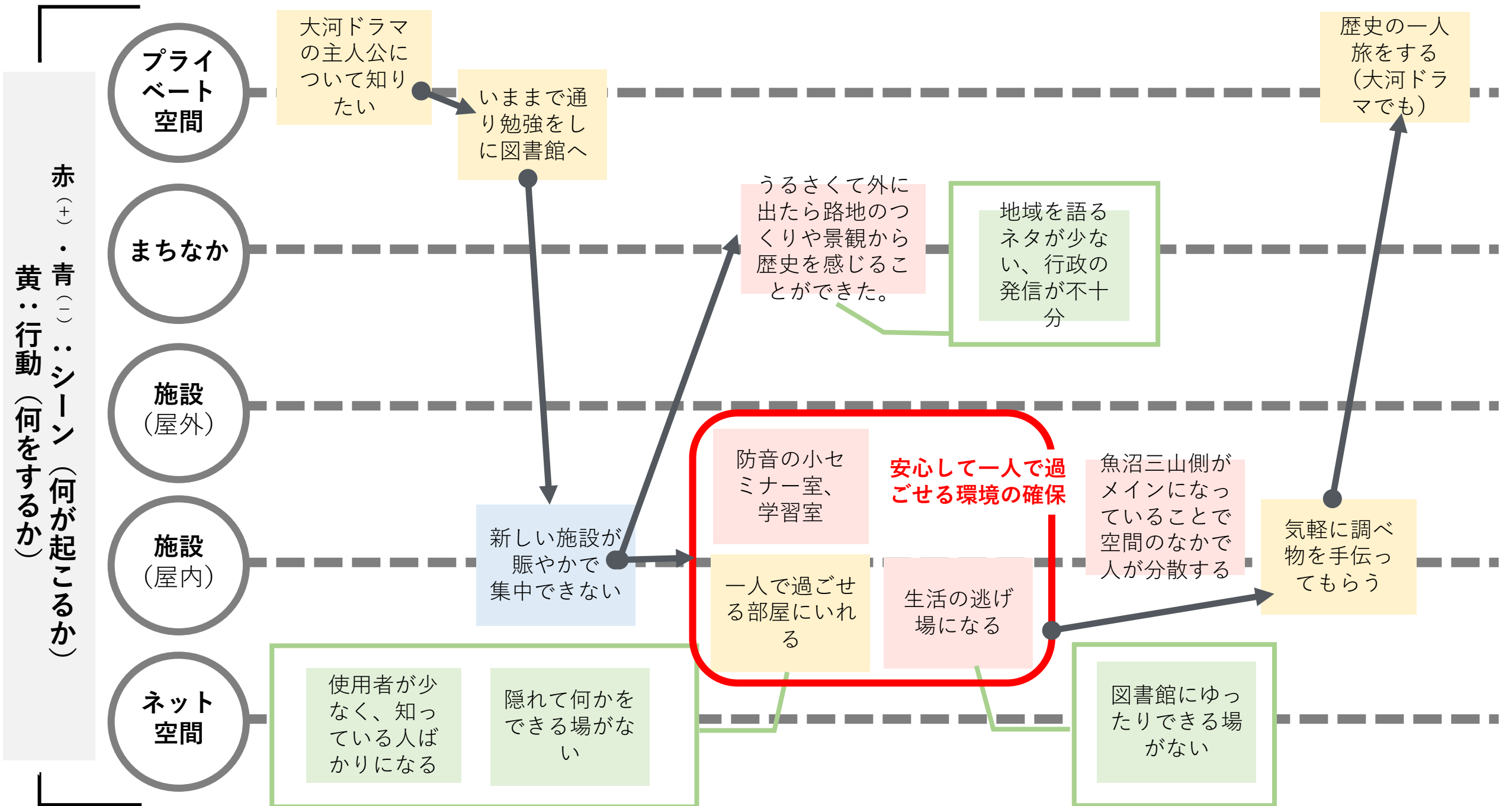
人物設定：歴史が好きでにぎやかな場が嫌いな70代男性

季節：冬

きっかけ

施設に行く

その先のアクション



# おぢや体験マップ

パターン：コミュニティづくり・活動の場

テーマ：交流

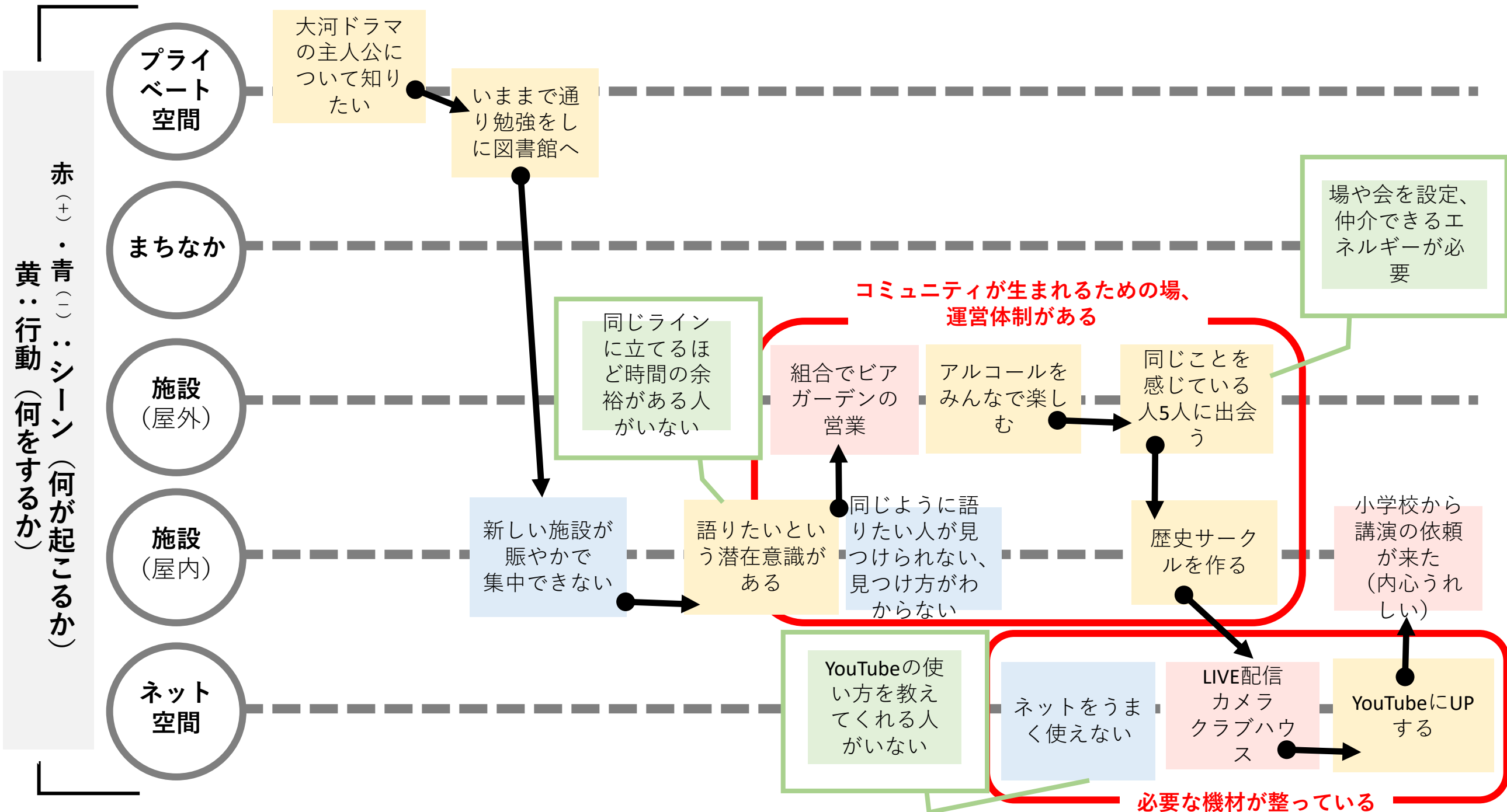
人物設定：歴史が好きでにぎやかな場が嫌いな70代男性

季節：冬

きっかけ

施設に行く

その先のアクション



# おぢや体験マップ

## パターン：災害時の避難

テーマ：交流

人物設定：歴史が好きでにぎやかな場が嫌いな70代男性

季節：冬

きっかけ

施設に行く

その先のアクション

プライベート空間

まちなか

施設  
(屋外)

施設  
(屋内)

ネット空間

赤(+)・青(-)・シーン(何が起ころるか)  
黄・行動(何をするか)

雨が降ったら湯殿川が洪水になりそうだ!

非難する場所がない

洪水時に避難場所が近くにない

日常的な利用とコミュニケーションがある

組合でビアガーデンの営業

アルコールをみんなで楽しむ

同じことを感じている人5人に会う

生活の逃げ場になる

歴史サークルを作る

非常時に対応できる仕組み・体制が整っている

フロートを寄せた避難所として集まる

顔見知りの利用者同士で助け合える



# おぢや体験マップ

テーマ：交流

人物設定：時間を持てあそばさる高校2年生(女子) 季節：夏

きっかけ

施設に行く

未来

プライベート空間

まちなか

施設(屋外)

施設(屋内)

ネット空間

赤(+)

青(-)

黄..行動(何をするか)  
..シーン(何が起こるか)

お祭りに行く約束をして、その計画をまとめるために施設を利用する。

自由に話をして長く居座れる場所がある。

中高生が集まるおしゃべりできる場所がある。

小4給内のある高校は、中外的な通学スタイル。

通学のルートに集まる通学生が多い場所がある。

運動でかいた汗の街に、あつてもいっていい場所がある。

ここに行く交通手段が少ない。

学校の仲間、家族以外の人間関係。

卒業後も会える仲間づくり。

みんなと一緒におしゃべりしたい。

暑いので涼みに行く。

書架整理、おしゃべりできる場所、おしゃべりできる場所。

街中で有灯塔が目に入る。

夜、みんないっしょに練習の音かきこえる。

同じ世代の高校生が、たくさんいる。(学校の道)

風が通り木陰のある、通りに面したオープンカフェ。

友達と気軽に話したい。

日光神社、元町会館。

高校時代の思い出を、東京に送る。17歳、戻ってくる。小4給へ。

自然に他校の人と会って話が始まる。

おしゃべりできる場所がある。

3=セトが無い。

体験プログラムがある。

子ども達との交流。

通学先にはおしゃべりできる場所、帰ってきたら仕事探し。

大人の視線から度々隠れた場所がある。

いい席が埋まっている。

インスタ映える背景空間。

無料のWiFiスポット。

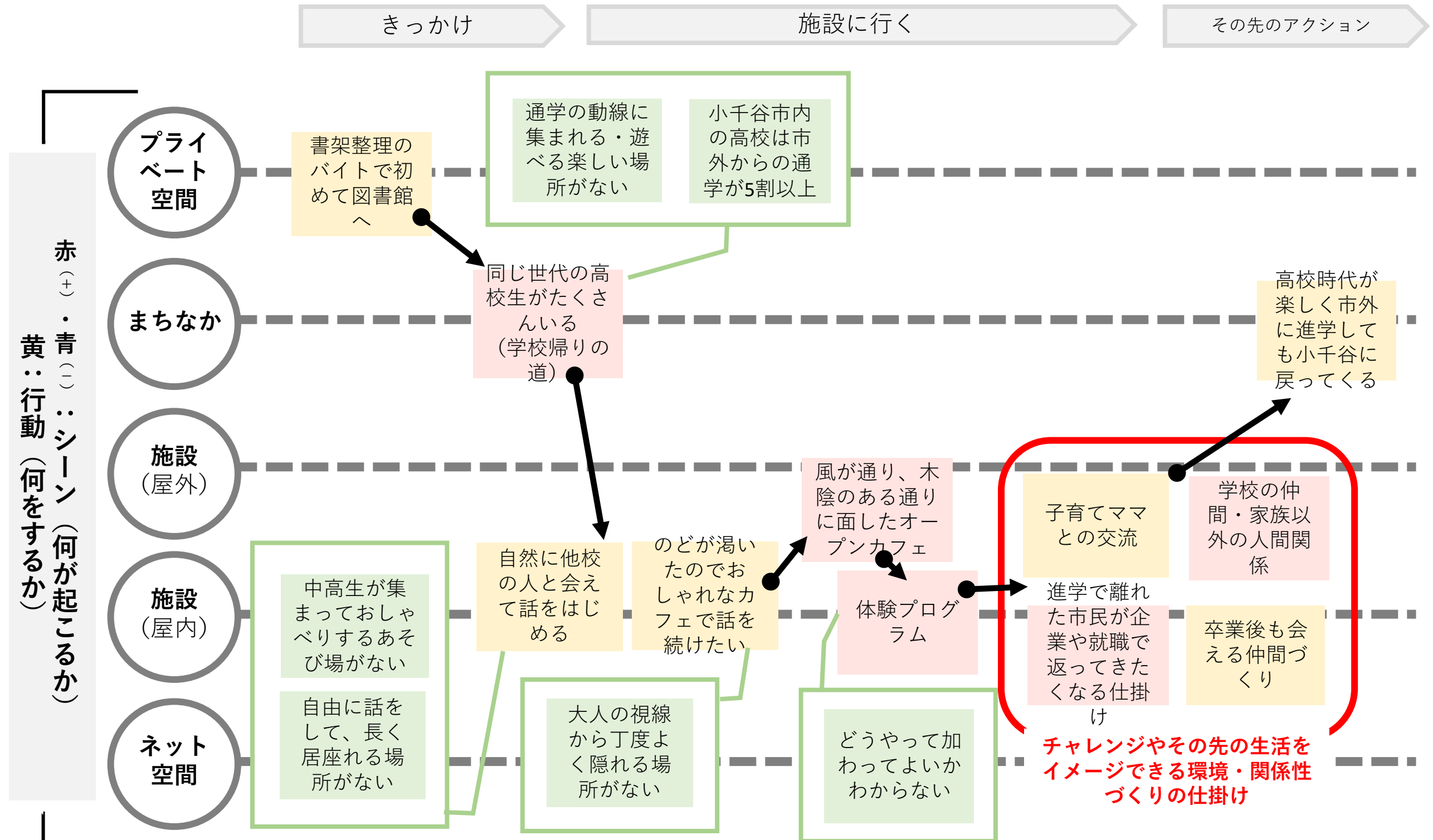
# おぢや体験マップ

パターン：帰ってきたくなるまちづくり

テーマ：交流

人物設定：時間を持て余している高校2年生（女子）

季節：夏



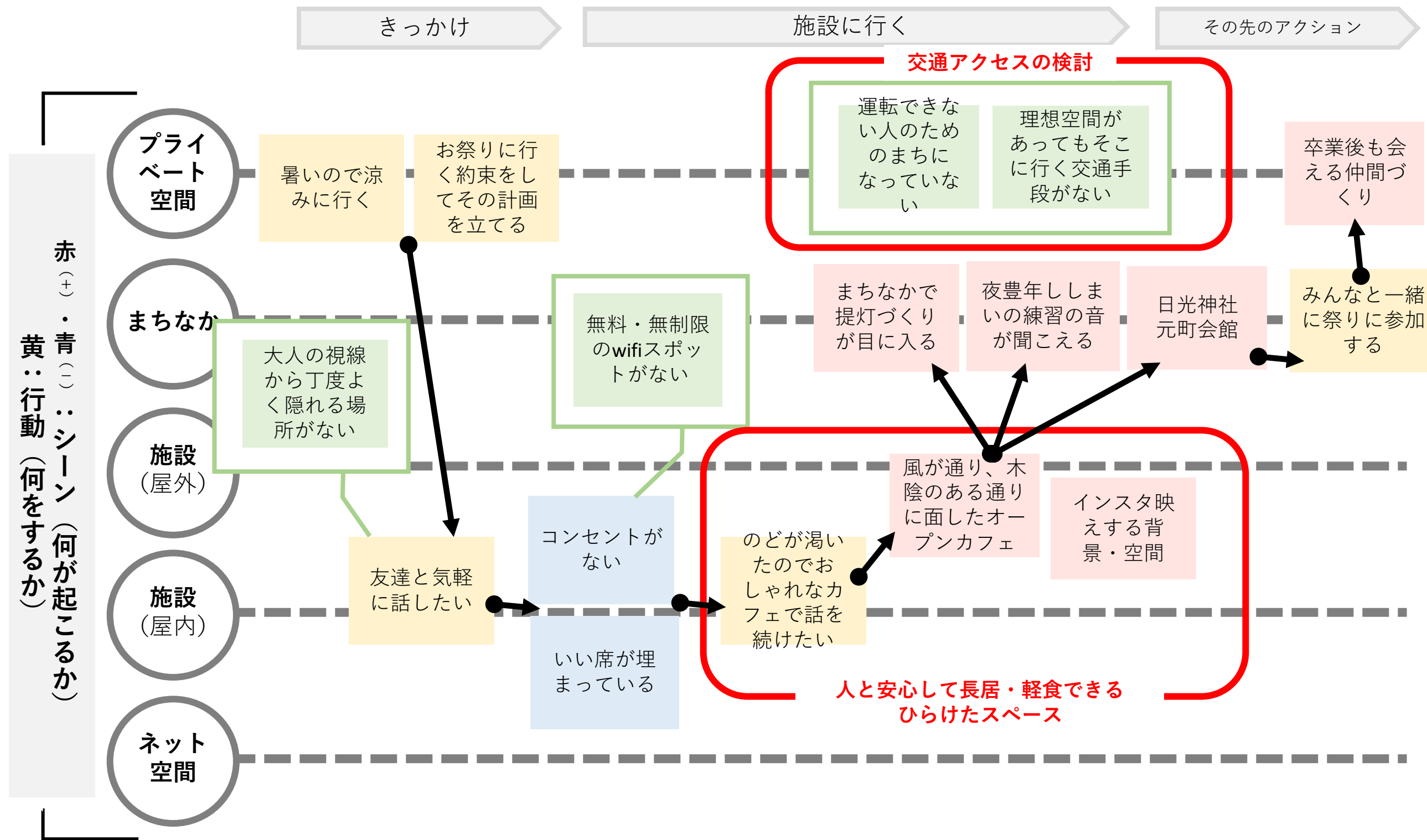
# おぢや体験マップ

## パターン：放課後時間の充実

テーマ：交流

人物設定：時間を持て余している高校2年生（女子）

季節：夏





グループ E

# おぢや体験マップ

テーマ: 交流

人物設定: 高校生

季節: all

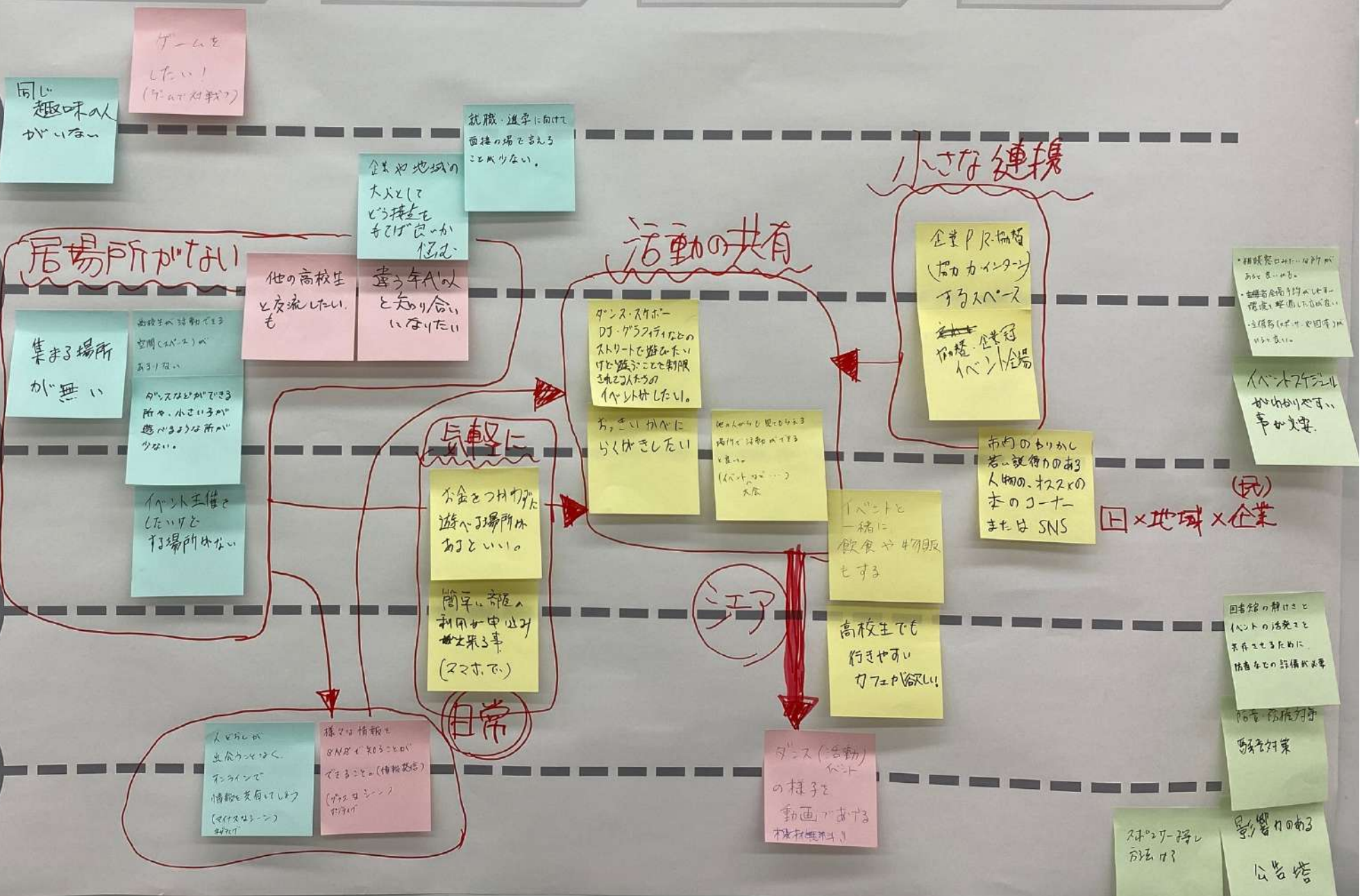
子	勉	交	仕
		正	下

- 他校のルール
  - ・簡単
  - ・気軽
  - ・自由
- おぢや(心)ルール
  - ・村柄のルール
  - ・制約(なし)
- 運営体制の確立
  - ・運営組織・人的体制
  - ・経営
  - ・全寮
  - ・学生(寮生)の募集
- SNSの運営
  - ・SNSの導入
  - ・SNSの導入方法
  - ・SNSの運営方法
- やりたい事を  
実現する仕組み  
と付随するサービス  
について
- 平日  
ポストコロナの  
人の集り方

どんな施設も、  
ある程度駅から  
近くなければ  
学生は来ない。

赤 (+) ・ 青 (-) .. シーン (何が起こるか)  
黄 .. 行動 (何をやるか)

- プライベート空間
- まちなか
- 施設 (屋外)
- 施設 (屋内)
- ネット空間





# おぢや体験マップ

ポイント：

at！おぢやに  
おける対話  
などのルー  
ルも大切

テーマ：交流

人物設定：居場所を求めている高校生

季節：オールシーズン

状況・モチベーション

施設に行く

参加

その先のア  
クション

プライベート  
空間

同じ趣味の人  
がいない

ゲームを  
したい

他の高校生  
とも交流し  
たい

大人として高  
校生とどう接  
点を持てばよ  
いか悩む

まちなか

集まる場所が  
ない

小さい子が遊  
べるようなと  
ころがない

就職、進学に  
向けて、面接  
の場で言える  
ような体験が  
少ない

協賛企業を  
見つける  
(会う)  
方法

市民協働の  
運営体制の  
確立

ポストコロ  
ナの人の集  
まり方

施設  
(屋外)

ダンスなど活  
動できる空間  
(スペース)  
がない

イベント主催  
したいけどす  
る場所がない

相談(サ  
ポート)窓  
口が必要

イベントな  
どで企業が  
PR・協賛で  
きる

やりたいこ  
とを実現す  
るためのし  
くみづくり

交流のにぎ  
わいと図書  
館の静けさ  
の共存

施設  
(屋内)

駅からの距  
離がネック  
になる

お金を使わ  
ずに遊ぶこ  
とができる

高校生でも  
行きやすい  
カフェがあ  
る

イベントに  
参加しなが  
ら飲食や買  
い物をする

他の人に見  
てもらえる  
場所で活動  
する

自由さを損  
なわない施  
設のルール  
をどうつく  
るか

ネット  
空間

出会うこと  
なくオンラ  
インで情報  
を共有でき  
てしまう

様々な情報  
をSNSで知  
ることがで  
きる

SNS等オン  
ラインコミュ  
ニケーション  
の運営

影響力のあ  
る広告塔が  
必要では

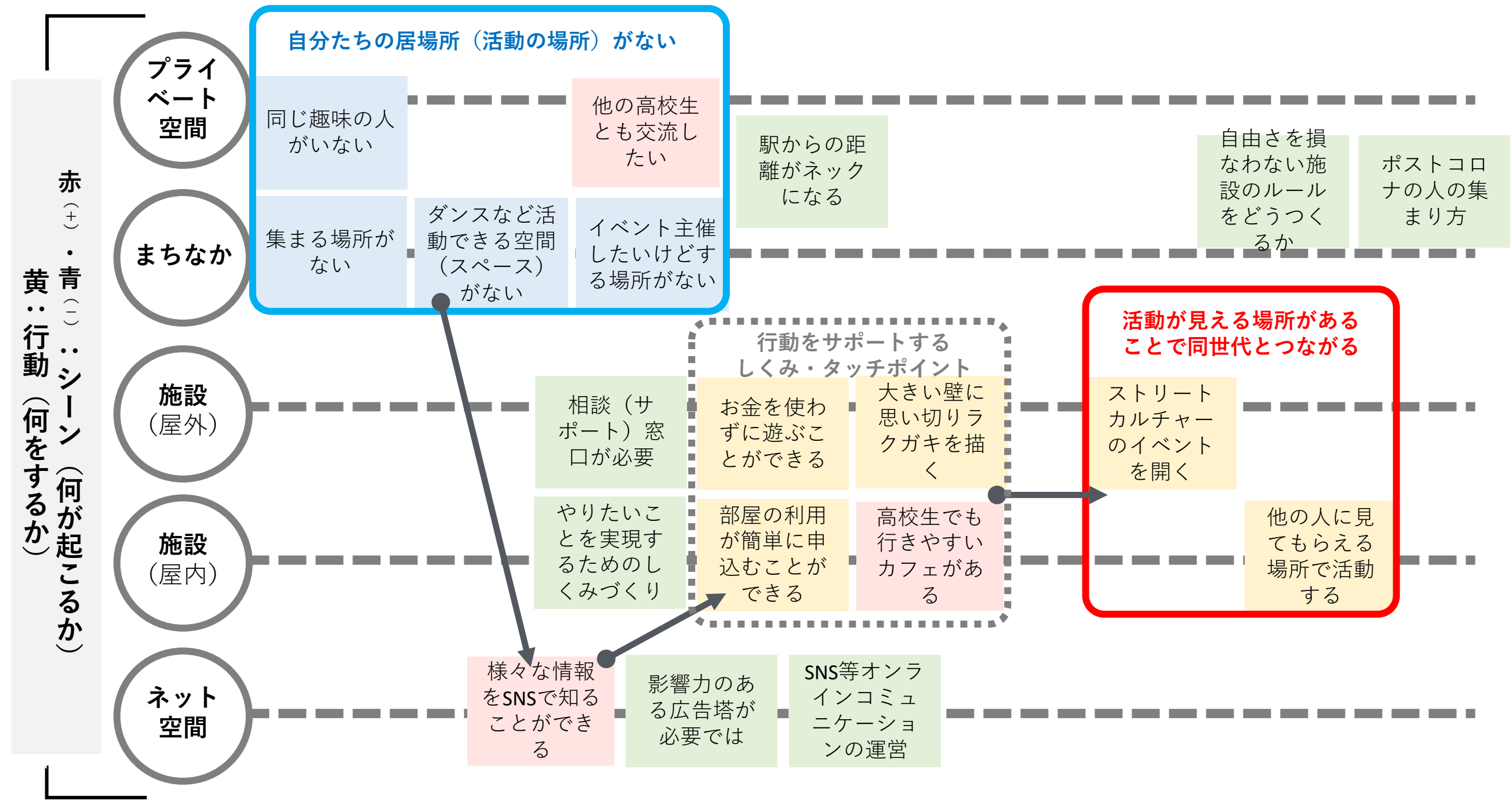
赤(+)・青(-)..  
黄..行動(何を  
するか)  
シーン(何が  
起こるか)

# おぢや体験マップ

**パターン・ランゲージ：活動が見えることでつながる10代のための居場所**

at！おぢやに  
おける対話  
などのルー  
ルも大切

テーマ：交流      人物設定：居場所を求めている高校生      季節：オールシーズン



# おぢや体験マップ

**パターン・ランゲージ：イベントを通して10代と地域の大人や地域社会がつながる**

at！おぢやにおける対話などのルールも大切

テーマ：交流

人物設定：居場所を求めている高校生

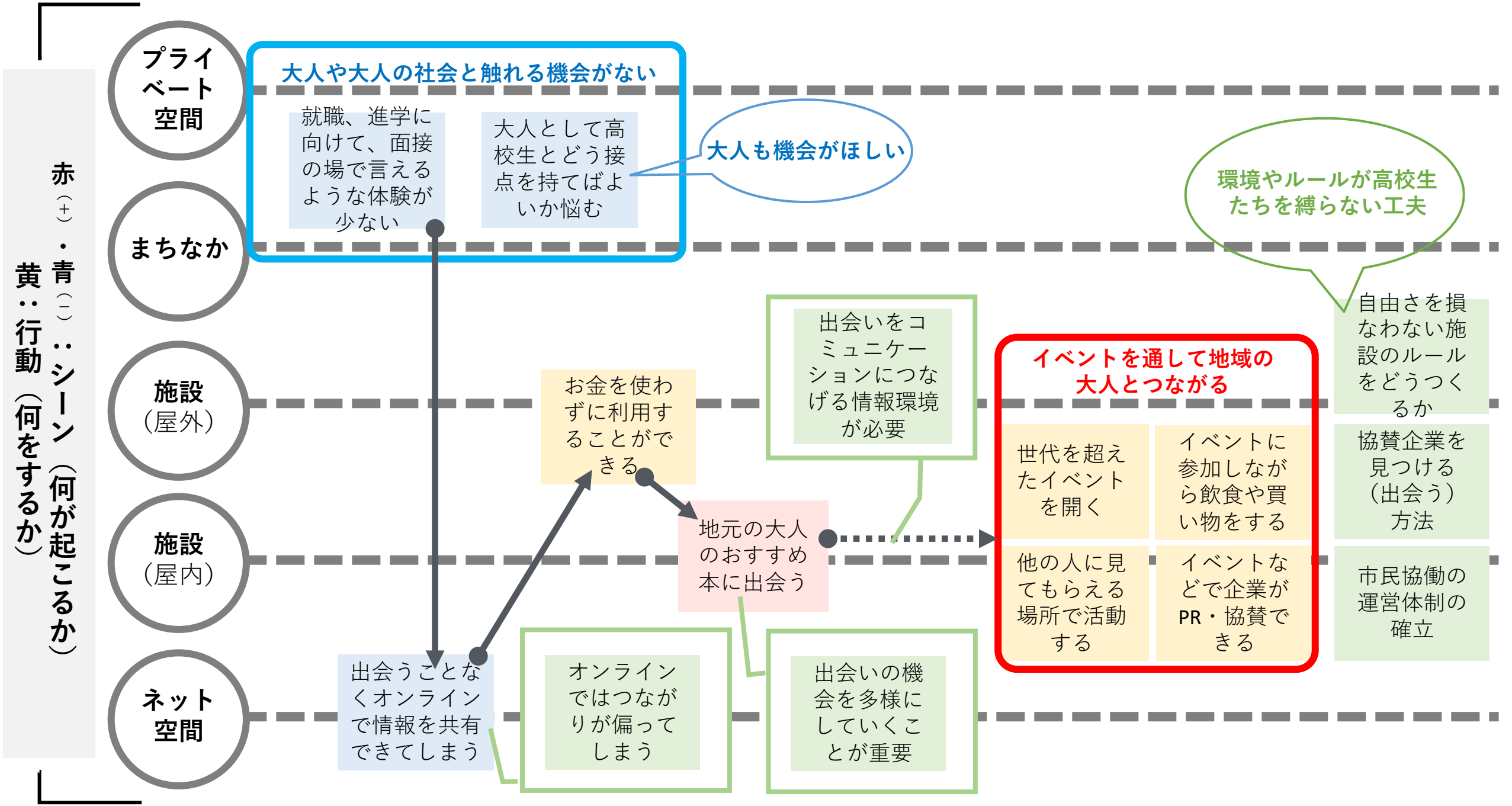
季節：オールシーズン

状況・モチベーション

施設に行く

参加

その先のアクション





グループ

F

# おぢや体験マップ

テーマ：**交流**

人物設定：**お住を考えている  
お住してばかり**

季節：**春（異動、引越し時期）**

交流  
3) 5) 1)

きっかけ

小千谷を知る

見せる  
(魅せる)

どうしたら小千谷が  
好きになる？ 知ってます？

見せたい

消極的  
小千谷の  
特性も

「物人」になる  
共同作に入  
めれば本人の動  
きも必要  
しづめの  
必要

まち全体  
移動

ネット情報を超  
える人と人を  
合わせる機会  
必要

施設への「足」  
小千谷に  
お盆か  
お盆か  
お盆か

展示は  
一歩一歩  
まち全体を  
使って

各地域のみ  
を  
お盆か  
お盆か  
お盆か

情報を得て足  
を動か  
す  
お盆か  
お盆か

新しい人も  
お盆か  
お盆か  
お盆か

小千谷のお  
お盆か  
お盆か  
お盆か

一番お盆か  
お盆か  
お盆か

魅力あるシーン  
お盆か  
お盆か

小千谷には  
お盆か  
お盆か

そこへ来ては  
お盆か  
お盆か

新しい人だけで  
お盆か  
お盆か

お盆か  
お盆か  
お盆か

プライベート  
空間

まちなか

施設  
(屋外)

施設  
(屋内)

ネット  
空間

赤 (+)  
青 (-)  
黄 ..  
行動シ

お盆か  
お盆か  
お盆か

小千谷に  
お盆か  
お盆か

お盆か  
お盆か  
お盆か

お盆か  
お盆か  
お盆か

お盆か  
お盆か  
お盆か

お盆か  
お盆か  
お盆か

お盆か  
お盆か  
お盆か

お盆か  
お盆か  
お盆か

展示

小千谷

「小千谷の空」を持つ  
人が自ら展示して  
お盆か  
お盆か

小千谷全体を  
お盆か  
お盆か

小千谷情報の  
お盆か  
お盆か

居住地(村の中)に  
お盆か  
お盆か



# おぢや体験マップ

**パターン：移住者が小千谷のことを知っていくプロセス**

テーマ：交流

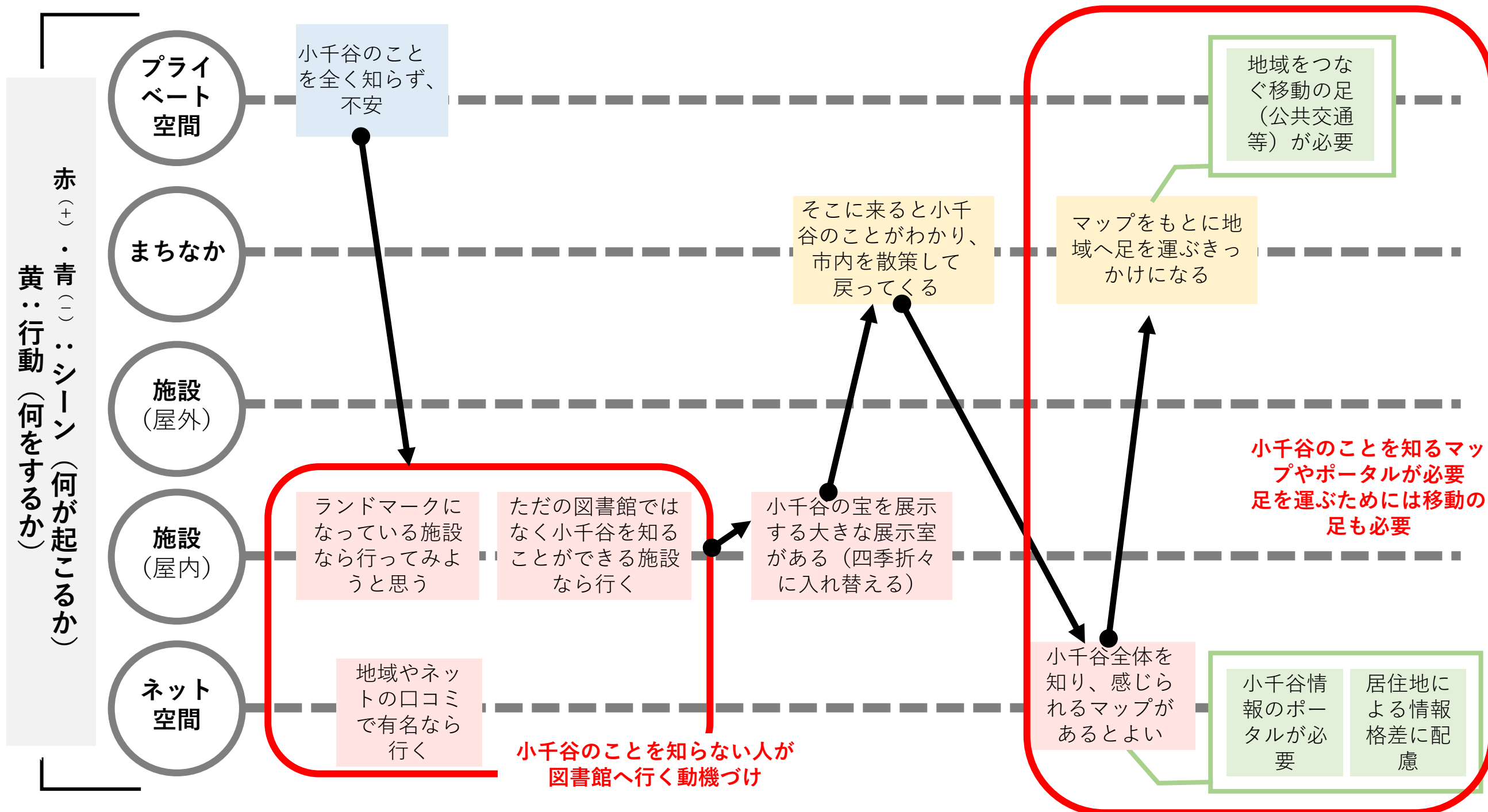
人物設定：小千谷への移住を考えている人 or  
小千谷に移住してきたばかりの人

季節：春（異動の季節）

きっかけ

施設に行く

その先のアクション



# おぢや体験マップ

**パターン：移住者が小千谷市民になっていくプロセス**

テーマ：交流

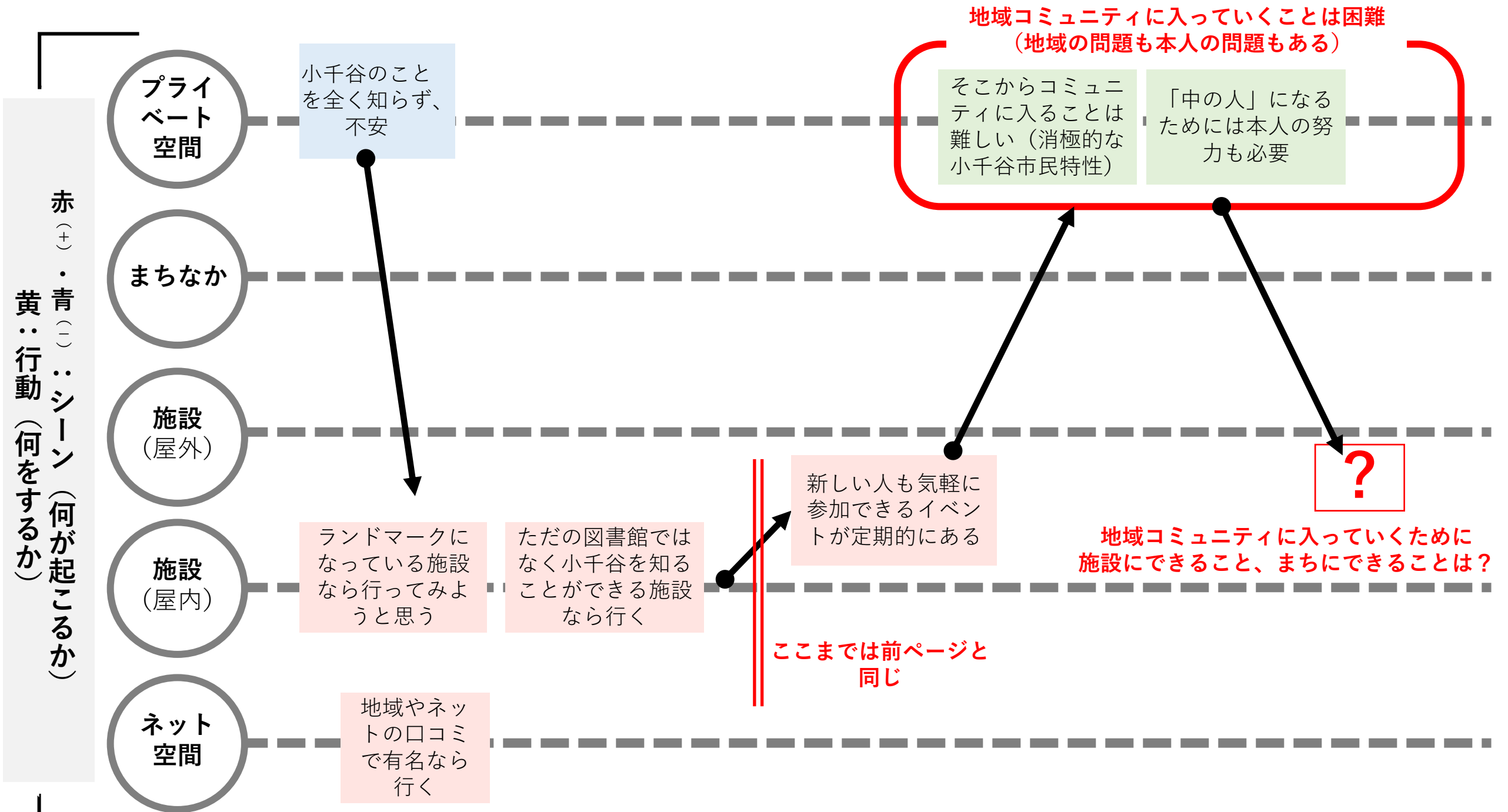
人物設定：小千谷への移住を考えている人 or  
小千谷に移住してきたばかりの人

季節：春（異動の季節）

きっかけ

施設に行く

その先のアクション



# おぢや体験マップ

## パターン：小千谷市民が移住者を迎え入れるプロセス

テーマ：交流

人物設定：小千谷への移住を考えている人 or  
小千谷に移住してきたばかりの人

季節：春（異動の季節）

きっかけ

施設に行く（連れていく）

その先のアクション

プライベート空間

お客さんが来てくれたときに連れていく場所がない（潜在的にはたくさんあるのに・・・）

各地域にお金落ちる仕組みも必要

まちなか

魅力あるシーンはたくさんある

一番困る「雪」も移住者には大変（対処法など教えてあげたい）

展示は一ヶ所（図書館だけ）でなくまち全体を使って

人と人が顔を合わせる機会にもなる

小千谷の良さは歴史の中に見つけることができる  
→歴史文化の展示が効果的

まち全体にアンカーを配置

施設（屋外）

施設（屋内）

小千谷の宝を展示する大きな展示室がある（四季折々に入れ替える）

小千谷の宝を持つ人が自ら展示してもらいたくなる施設を！！

小千谷のことを知りたい人と、小千谷のことを知ってほしい人を結びつけるのが「展示室」

ネット空間

赤（+）・青（-）  
黄（行動）  
青（シーン）  
黄（何をするか）  
青（何が起こるか）



# おぢや体験マップ

テーマ：**交流**

人物設定：**定年退職・男性**

季節：**春**

きっかけ  
(悩み)

情報を得る

何の為に  
動く？「第1歩」

性別の違い

自分の意識  
大事

プライベート  
空間

仕事以外の  
つながりがある人  
がほしい。  
どこかで情報  
を得たいけれど  
わからない。

場があれば  
交流がはまり  
るわけはない。



自分の「できること」  
に気づく(追加)  
おわりは何か  
しているのか？

女性は仲間  
づくりが得意だが...  
おぢやさんには  
ない。

まちなか

町内に入って  
町内の活動に  
積極的に参加  
する。

仲間  
づくり

バラバラに活動  
している人同士が  
自然につながる  
場があるとよい。

環境の改善で  
仲間づくりも↑  
定年後に  
つながる。

施設  
(屋外)

相談  
できる場

社会的弱者のセ  
ンターと同居の  
場と高齢者の  
活躍の場

様々な団体へ  
参加し力を発  
揮できる仕組み  
づくり。

施設  
(屋内)

退職者が講師  
となる講座

ボウリンググループ  
等の情報が  
得られる。

「起業」への  
一歩をふみ出す  
ためには？  
第29回

毎朝「天然記念  
物」のようなもの  
があるに行く

屋上がアケド  
と対峙し、ラン  
ニングやキック  
ができるように。

バリアフリー  
は必須

健康  
ハート  
フル

ネット  
空間

情報を得て  
講師もボウリング  
として活動が  
始まる。

「健康情報」  
があるに行く

赤(+)・青(-)..  
黄..行動(何を  
するか)..  
シーン(何が  
起こるか)

# おぢや体験マップ

**ポイント：定年退職した男性が第二の人生に足を踏み出す**

テーマ：交流

人物設定：定年退職した男性

季節：指定なし

きっかけ

施設に行く

その先のアクション

仕事以外につながっている人がいない  
どうやって地域の情報を得たらよいかわからない

情報を得て講師やボランティアに興味を持つ

?

場があれば活動するわけではない。どうしたら第1歩を踏み出すか？

自分の「できること」に気づく。まわりが何に困っているのかに気づく。

女性と男性の性差を踏まえて考える（女性は仲間づくりが得意）

バラバラに活動している人同士が自然に繋がれる場があると良い

現役の段階から地域で仲間づくり

キーワードは「仲間づくり」「自分の経験を生かせる」「男性と女性の性差を踏まえる」

社会的弱者のセーフティネットとなる場があるとよい。（定年後の高齢者の活躍の場となる）

様々な団体へ参加して、仕事の経験を生かして力を発揮できる仕組み（団体の情報が得られる）

プライベート空間

まちなか

施設（屋外）

施設（屋内）

ネット空間

定年を迎えた男性が複合施設に来るきっかけは？  
↓  
動機付けのひとは「健康」

?

「健康」の情報には敏感。健康情報があれば行くのでは  
バリアフリーは必須

屋外がアーケードとつながり、ランニングやウォーキングができるとよい

退職者が仕事経験を生かして講師になれる講座がある

ボランティアグループ等の情報が得られる

赤（+）・青（-）…シーン（何が起こるか）  
黄…行動（何をするか）